京城日報

廿一日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 三ヶ月分金一圓六十錢 前金 郵稅
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

時間表 （南行）（北行） [illegible]

第卅九回 特別帝國議會

▲上院成立

第三十九回帝國議會は愈々二十一日を以て召集せられ無事成立したるが貴族院に於ては此日午前七時二十八分石川縣多額納稅議員由雄元太郎氏を先頭に同三十分北島齊孝男之に次ぎ九時三十五分水野直子を最後に續々登院出席議員數は二百八十二名なり定刻午前九時德川議長は柳田書記官長以下各書記官を隨へて入場議員の席次及び貴族院規則第五條に依り部屬の抽籤を行ふ可き旨を宣し九時四十分一旦休憩す各議員は直に部室に入り部長理事の互選を行ひ十時二十分再會議長より部長理事の人名を報告し右にて議長より貴族院成立せしを以て其趣を政府及び衆議院に通牒し開院式御日取を仰出で次第通告の旨を宣し十時二十五分散會せり（東京特電）

▲議長決定

衆議院議長は政友會の小川平吉氏敢なかりしも幹部の壓迫に依り小川氏自ら辭退し竟に大岡育造氏就任するに決し副議長は國民黨の濱田國松氏と決定せり（東京電報）

▲國民黨愈拒絕 不信任案に不賛成

憲政會より現內閣不信任案提出に關する交涉を國民黨に致せるに對し同黨にては廿日左の回答を爲せり（東京特信）

我黨は所見を異にするを以て貴會の交涉に應じ難し

▲下院各派交涉

衆議院各派交涉會は十八日午前十時より院內議長室に於て開會江藤、秦、望月、廣岡（政友會）粕谷、小西、小泉（憲政會）前川（國民黨）飯田、秋田（維新會）並に寺田書記官以下津久井、土岐、長谷川各書記官出席左記各事項を協定し同十一時散會したり（東京特信）

一、控室　前政友會後へ憲政會、純無所屬前憲政會後へ政友會及維新會

二、議席　議長席より左端國民黨中央政友會、國民黨、政友會の中間へ維新會並純無所屬、右端憲政會

三、委員　豫算委員政友會二十八名、憲政會二十一名、國民黨六名、維新會八名、請願委員及び決算委員政友會各二十名、憲政會各十五名、國民黨各五名、維新會各五名、懲罰委員政友會十二名、憲政會九名、國民黨三名、維新會三名、特別委員九名の場合は政友會四名、憲政會三名、國民黨一名、維新會一名委員倍數の場は此比例に應ず

▲藥品取締法案

內務省にては最近大阪、橫濱兩市に於ける藥品爆發事件に鑑み目下之れが取締方法制定に關し各地方長官に對し各縣下に於ける藥種商の取扱狀態に就き調査せられつゝあれば右の報告を俟ち具體的取締法案を制定し直に公布すべしと（東京特信）

支那の形勢

▲黎總統退職を決す

黎總統は時局の紛糾に鑑み遂に退職の決心をなしたりと傳へらる（北京電報）

▲政務委員會の組織

黎總統は督軍側の要求を容れ政務委員會を組織せり（北京電報）

◎伊國內閣愈充實す 軍事及び軍需兩省新設

アルバニア問題に關し伊太利內閣內に多少の異論ありしが十一日に至り漸く統一され陸海軍大臣の新設を見新に軍事及び軍需兩省を設け運輸大臣亦新任され結局無任所大臣五名其他十五名の閣僚を有する事となり更に戰時時局解決の爲め大臣五名議員數名を以て委員會成立したり（倫敦電報）

◎露國女子義勇軍募集

露國は女子義勇軍を募集して戰線に送るべく目下準備中也（桑港電報）

◎墺國內閣の總辭職

維也納發電に依れば墺國內閣は總辭職をなせり（路透電報）

◎帝國戰費

西歐戰爭開戰以來我國の戰費は實に二億五千萬圓に達せり（東京電報）

◎外交調査會議（第二回）

十八日宮中に於て初會議を開會せる臨時外交調査會は二十二日午前十一時より第二回會議を同樣宮中に於て開會することに決定せり（東京特信）

◎訴追中の議員

衆議院議員にして目下選擧違反に就き被訴追中の者は七八名に達せるが其中第一審に於て有罪の判決を受けたる者は福田辰五郎（維）高木利平（憲）我如古樂一郎（憲）の三氏にして豫審に於て有罪に決定し公判中の者古川清（維）氏豫審中に屬する者は吉田中（維）金子元三郎（憲）南澤宇治太（政）井上角五郎（政）の諸氏にして金子氏は收監せられ居れり猶井上氏は令狀を執行せられたるに非ずと云ふ（東京特信）

◎支那政局の現狀 變化豫測す可らず

張勳將軍入京後大兵を擁して勢威日に加はり李經羲氏總理の下に自己の腹心を以て內閣を組織せんとする一方更に二十五營の大兵を增員するの計畫あり其志や小ならざるものあり而かも李內閣組織に對して已に八省督軍の反對あり、其成立は到底覺束なしと思はるゝも張氏は更に驚かず、各省反對あらば自己一人にても組織して見せんと放言す而して天津の段祺瑞氏已に張勳氏の行動に慊らず徐世昌一派湯化龍、梁啓超等諸氏の進步黨系亦漸く其の勢威を惡みて排斥策を講ず若し更に勢威を加ふるに於ては民黨と一致しても張氏を除くの決心ありと聞く更に一方段派、徐派は倪嗣沖氏等の行動に漸く不滿を抱くの傾向あり倪氏は目下天津に在りて孤立無援前非を悔いて蟄居し晦中間等の方針を取り正に乃ちんとし其間黎總統は徒に身を總統府に橫ふるのみ南方は黎總統の約法保護に李烈鈞氏六省聯盟を劃し唐繼堯氏已に擧兵を通電すかくて平和の調停使たる張勳氏は今や反つて

▲平和の攪亂者

たらんとするの感あり、今各派內訌の狀態を明にせんが爲め目下の情勢より之を派別すれば左の如し

（一）黎總統派　黎總統派と云ふも多くは既に四散し殆んど有名無實なるも從來の關係よりして之を計ふれば　哈漢章、丁世嶧、饒漢祥、郭泰祺、蔣作賓、金永炎、耿同、徐謙、劉成禺、黎澍

（二）段祺瑞派　徐樹錚、曲同豐、李進才、靳雲鵬、范源廉、傅良佐、吳炳湘、丁士源、徐世英、張作霖、張國淦、李厚基、倪嗣沖、田中玉、趙倜、張敬堯、陳樹藩、閻錫山

（三）徐世昌派　王士珍、梁啓超、曹錕、湯化龍、李純、曹汝霖、陸宗輿、張國淦、孟恩遠、江朝宗、陳大道、朱家寶、姜桂題、其他進步黨

（四）張勳派　李經羲、段芝貴、張鎭芳、王揖唐、雷震春、朱啓鈐、梁士詒、袁乃寬、阮忠樞、辜鴻銘等

（五）南方派　岑春煊、孫文、唐紹儀、伍廷芳、李烈鈞、唐繼堯、陸榮廷、陳炳焜、譚人鳳、譚浩明、陳炯明、朱慶瀾、譚延闓、孫洪伊、嵇鎭、吳景濂、王正廷、谷鍾秀、田桐、褚輔成、朱念祖、白逾桓、黎天才、石星川、劉顯世、王寵惠、張耀曾、其他民友社、益友社、政學會員

（六）中立派　馮國璋、陸榮廷、龍濟光、王占元、馮德麟

以上の分野は全く今日の形勢より打算したるものなれば固より

▲形勢の變轉に

伴ひ自ら變化あるべきも大體に於ては誤らざるを信ず只其中南方派の張耀曾氏は態度不明にして段派に接近するの傾向あり徐派に屬する陸宗輿、曹汝霖の兩氏は段派及び張派に通ず又雜派の夏壽康氏の如き北洋派に通じ若し張作霖、張懷芝、倪嗣沖、曲同豐、靳雲鵬諸氏の如き張派に善し其分野混沌として明ならず勢の趨く所將來の變遷は逆睹すべからざるものあり（北京）

◎總督動靜

東上中なる長谷川總督は二十日午後二時東京驛發列車にて修禪寺に向ひ午後五時著同地二泊の上二十二日午前發三島に御滯在の李王殿下に隨行既記の如く下の關迄御見送り申上ぐべき旨二十日夜某所に入電ありたり

◎政務總監張宴

山縣政務總監は二十二日午後一時より二十一日夜入京のウートレー氏夫妻ワリノン、グラン氏及同夫人を主賓として朝鮮ホテルに午餐會を開くことなれり、總督府側よりは宇佐美內務部長官、松永京畿道長官、久水外事課長及び同夫人、高橋武官、齋藤副官、遠藤秘書課長、菱田通譯官等列席す可し

◎軍經理官會議（第二日）

駐劄軍高級經理官會議の第一日は二十一日午前八時三十分より會議室に開會出席經理官及び司令部幕僚參列午前秋山軍司令官廣瀨經理部長の訓示あり午後經理部の指示注意事項等ありて四時すぎ散會せり

◎隊主計會議終了

憲兵隊司令部に於て去る十八日より開催中なりし全道憲兵隊附主計會議は愈々二十日を以て終了同日午後七時古海警務總長は一同を朝鮮ホテルに招待せり尚一同は二十一日より龍山軍司令部に於て開催の軍及び憲兵主計會議に出席せり

◎坂田公使の車中談に曰く 任地著は八月の初め＝西班牙の米＝露西亞の不安＝露の單獨講和を信ぜず＝朝鮮は舊知の地

坂田西班牙公使の赴任を二十一日早朝水原に迎ふ、未だ就床中なりしが待つ事稍暫らくにして公使は記者を食堂車に誘ない茶を啜りつゝ語る、此頃外交官の赴任は大抵途中の危險が伴ふため單身だ、予も矢張り家族を連れず、書記官及び廚夫と三人道中です、任地までの徑路は先づペトログラードに直行して或る時日滯在の上乘船の準備手續きをなし、それから諸威に出て英國に渡り、佛國から西國首府のマドリッド著は八月の初めだらうと思ふ西班牙は歐洲戰爭以來色々の風說を立てられ、昨年の如き既に協商側に加入して出兵したなどと云ふ噂も傳はつたが、事實は中立の態度を嚴守してゐる、恐らく今後も戰亂の禍中に投ずる事はないであらう、乃ち歐洲に於ける中立國中の最大強國で又支那や伯西剌爾の態度があゝした風であるから世界の中立國中の大國とも云へやう、目下日本との通商關係ですか、其は多く云ふに足らぬ、唯僅に日本製の扇子が精巧な器用なと云ふ所から大に彼國で珍重され、又西班牙產の葡萄酒は良品として吾國に喜ばれてゐる位のものだ、然し

▲日西通商協約

も最近改訂されたし、其の兩國接近の機運は正に熟しつゝあるのだから、今後は予も兩國關係の親善通商の發達等に就き微力を盡して見たいと考へてゐる、目下の所在西班牙の邦人は地中海に面せる方面に三四人ゐる位で、殆んど其の足跡は國內に印せられて居らぬらしい、又西班牙には文化の爛然たるものはないやうだが、農業はよく發達してゐて時局の爲食料品其他の各國供給增大並に價格の騰貴は其の農民の懷ろ合を餘程よくしてゐるやうだ、又西班牙には大麥米の好いのが出來、予等も任地に行つたとて食料には困却せぬ……話頭一轉して其の露國觀に及ぶ、露國は首都にも鳥渡滯まるし、沿線も注意して諸事象を觀察したいと思つてゐる、此頃、留が暴落又暴落それが急遽だから一部の間に前途を氣遣ふやうな觀察をしてゐる者もある、然し露國は革命後其の政體が君主制で行くか共和制で進むか、決定せず憲法制定もまだ出來ず、政府も臨時政府で內に反對黨の諸團體あり、外に獨墺同盟側の強敵を控へてゐる關係上、國內秩序の確立が出來ないのであるから、從つて色んな風說の傳はるのは止むを得ない、又

▲露貨の暴落

の如きも止むを得ない、但し之れ等は一時的の現象で、此の現象より露國の倒潰若くば前途を極端に悲觀する如きは早計の甚しいものだ、底力のある露國は必らず、徐々に其の國勢の恢復をなすであらう、彼の內政の悲觀より來た單獨講和說の如きは尤もらしい觀測のやうに聞ゆるが、予は斷じて然らざるべしと信ずる、協商國側との深い情誼、強い緊帶を斷ち切つてまで露國が單り、獨墺と和を講ずる如きは絕無と稱して差支へない、朝鮮は予の外交官になり立ての明治二十九年から三十五年まで釜山木浦馬山三地を歷任したから古い事は大分知つてゐる、京城や仁川を當時屢々出張して來て、短い在勤位ゐのものだが然し仁川から漢江を川舟で京城に遡つた時代だから、皇國に併合して八

▲歐洲赴任

は大抵途中の危險が伴ふため單身だ、予も矢張り家族を連れず、書記官及び廚夫と三人道

◎春蠶豫想 本年は七萬五千六百石

本年初春以來の氣候は全土を通じ概ね低溫なりしを以て蠶兒の發生は平年に比し約一週間遲延し南鮮地方は五月十日前後、中部地方は五月十五日乃至二十五日、北鮮地方は五月下旬より六月上旬に亙り大部分の掃立を爲せり、本年は冬期に於ける寒氣頗る酷烈にして桑樹の發芽良好ならざるものあるのみならず蠶兒掃立以後に於ても尚低溫を持續し且つ地方に依りては一回の降雨も見ざる狀況なりしを以て桑葉の伸張は遲々として進まず蠶兒の發育に伴はざるの憾ありしも六月上旬以來氣溫に上昇して桑葉の發育を促し蠶兒は各地共に經過極めて良好なるが故に桑葉の供給に不足なき限り本春蠶は稀有の豐作を得可き見込なり六月十日現在調査に依れば本年の春蠶種掃立枚數は三十二萬二千六百十四枚にして其の繭產額は七萬五千五百八十九石の豫想なり、而して之を前年に比すれば掃立枚數に於て約三萬七千枚（一割三分）產繭豫想高に於て約一萬四千百石（二割三分）の增加とす、今繭產額累年比較並に大正六年春蠶豫想地方別を示せば左の如し

繭產額累年比較

年次	蠶種掃立枚數	繭產額
大正元年	一六二、四三七枚	二六、三三七石
大正二年	一七七、六四一	三二、二〇七
大正三年	一九一、七四七	三九、三九一
大正四年	二三六、〇一四	五二、二六〇
大正五年	二八五、五六〇	六一、四六八
大正六年豫想	三二二、六一四	七五、五八九

大正六年春蠶豫想高

道名	蠶種掃立枚數	產繭豫想高	蠶兒發育狀況
京畿道	三一、四八九枚	八、三五八石	良好
忠清北道	一二、五七〇	二、八九二	良好
忠清南道	一五、八三一	三、三八九	良好
全羅北道	一〇、〇一〇	一、七二六	良好
全羅南道	一五、四〇一	三、三五六	良好
慶尚北道	五九、八三七	一五、五三五	良好
慶尚南道	一四、六七三	二、六四七	良好
黃海道	二一、六五七	四、七〇〇	良好
平安南道	四一、五八二	一〇、四六一	良好
平安北道	三八、七四七	九、〇四五	良好
江原道	四〇、七五一	九、一六九	良好
咸鏡南道	一八、四五三	三、九二六	良好
咸鏡北道	一、五四三	一、二八五	良好
計	三二二、六一四	七五、五八九	

蠶種は二十八蛾分を一枚とす

◎米豆檢査會同（第一日）

各道米穀及び大豆檢査主任並に檢査員會同第一日は二十一日午前八時より總督府第二會議室に開催、各道主任檢査員等は勿論總督府よりは小原農商工部長官、中村技師、入見農務課長、青木商工課長其の他同部內技師商等官向坂勸業模範場技師等出席小原長官統裁の下に直ちに日程に入り午前午後に亙りて諮問あり三時半閉會したり

◎四省獨立を取消す

直隸、山東、河南、奉天各省督軍は北京政府に對して各自軍隊を撤退し獨立を執り消す旨の電報を發したり（北京特電）

◎軍司令官催宴 國澤副總裁を招待

秋山軍司令官の國澤副總裁招待晚餐會は豫報の如く二十一日午後七時より官邸に開催山縣政務總監立花中將三本理事其他も列席せり

◎師團長檢閱

立花第十九師團長は小出黑阪兩參謀宮地副官軍醫主計を隨へ臨時檢閱のため七月一日午前九時二十分龍山驛出發左の順序により出張する由

七月二三兩日義州守備隊、五日新義州、七八九の三日平壤駐屯隊、十二日より十五日迄四日間龍山諸隊、二十一日元山、二十六日より二十八日迄會寧駐屯隊、七月三十一日より八月五日まで羅南諸隊、八—九日北靑、十一日より十三日迄咸興駐屯隊八月十五日歸龍の豫定なり

◎坂田公使著發

新任西班牙公使坂田重次郎氏は二十一日午前七時五十分南大門驛著同八時二十分北行の鮮滿直通列車にて京城通過直路露都を經て任地に向ひしが停車場には山縣政務總監久水外事課長其他官民有志多數の迎送あり

◎ウ氏夫妻等入京

交趾支那選出議員ウートレー氏夫妻及び交趾支那ハノイ府政務局長ワリノン氏一行は亞細亞各地方一般狀況視察の爲め二十一日夜入京の筈なり

◎有賀課長出張

總督府關稅課長有賀光豐氏は稅關事務視察の爲め二十一日附釜山及び仁川に出張を命ぜられたり

◎服部遞鐵事務官入京

遞鐵局監理課長服部仁藏氏は二十一日午後七時三十分平壤より入京朝鮮ホテルに投ず

◎西間島取引 頭道溝對

頭道溝西間島間は其距離二十里以上にして而も交通開けず道路極めて不完全なるのみならず常に馬賊出沒し往々其被害を蒙るものあるが故に交通の困難想像の外にあり從來該地には商品の取引者と目すべきもの皆無にして個々當地に出市の機會に於て物品を購入し持歸るを例とするも其額至つて僅少なりしが晚今該地居住鮮人にして豆類其他の土產物を當地又は龍耐地方に移出し之を市場に賣買するもの增加するの狀況を呈し來りたると共に當地方の物資も亦該地に移出せらるゝもの增加せるもの如し又一面には從來日貨不流通の該地方に於て昨年來豆類を商ふ者の來往に伴ひ自然日貨の流通を見るに至りたるも尙主として官帖の愛用せらるゝが爲め該地官帖の價格高値なり之を當地と比較し一圓に付約二十錢の差額を生ずるを常とせるを以て當地との商取引は專ら官帖に依て行はるゝ而して當地には從來直接に西間島地方と取引を爲す商人なかりしも昨年來一二鮮人の取引を試みたる結果一般商品の賣行も稍活氣を帶ぶるに至りたるを以て昨今漸次相當の資本を投じ其取引方法を擴張するに至れり今後交通上の障害を除去し運輸の利便を得るの時期に至らば該地方の商取引は自然開發せらるべし（頭道溝分館報告）

◎上田視學官講話

遊歷內地各地の教育狀況を視察して歸鮮したる上田視學官は二十日午後四時內地人側教育家約百五十名に南大門小學校に開催されたる氏の講話會に臨み一場の講話を試み終つて一同茶話會に移りしが昨年七月以降新に入京せし教員三十四名の自己紹介等あつて盛會なりしと

◎「八扶叢言」

司法部長官國分象太郎氏の嚴父は八十の高齡に達して尙ほ矍鑠たり象太郎氏は嚴君の壽を祝せんが爲四方の知己より寄せられたる詩文を梓に上せしが三島中洲翁之れが題簽をなし「八扶叢言」と稱し寄稿諸氏に分配したり卷頭には寺內首相自筆の祝律詩あり中洲翁の題字及び祝詩を始め朝鮮側よりも趙重應子を始め小宮刀水、永島湖城、持地東湖、小松綠南、國分格庭、勝冠山、淺見楽堂、勅使河原青城、秋場白雨、久芳微瀾、阿部無佛其他諸氏の祝詩及び俳句、和歌等の雅製多し

京畿 ＝仁川＝

▲老齡者招待　二十五日仁川高等女學校に於て開催の地久節祝賀園遊會に招待すべき八十歲以上の高齡者は內地人四名、鮮人十九名にて內地人は山下町三丁目島崎とよ（八七）本町一丁目諸岡かつ（八五）仲町二丁目小阪ゆき（八六）山根町宮崎ユリ（八三）鮮人は松峴里姜氏（八〇）栗木里權氏（八九）同朴氏（八）千角里梁氏（八九）花平里金氏（八）其他なりと

▲柔道大會　仁川濱町誠武館に於ては來る六月二十三日午後七時より進級紅白試合を行なふ

▲園藝大會　濟町園藝研究所に於て發起者の催しに係る夏期園藝大會は來る二十四日の日曜日午前十時より同所に於て開催するとの事會費金壹圓にして賞品は一等絽無地羽織地一反二等瓦斯縞綸一反三等久留米絣一反四等浴衣地一反五等同一反以下十等迄浴衣地一反宛との事にて當日は飛入勝手なりと

▲人事消息

▲菊池國芳氏（大阪朝日副主幹）二十一

帝都御出發

陸軍大將姿の李王殿下

勅使並に皇后陛下御使を初め奉り各皇族方東京驛に御見送り

長き逗りの御滯在の下に滯京の一週間を御機嫌麗はしく過させ給ひたる李王殿下には二十日愈々御退京遊ばさるゝ事とて朝來長谷川朝鮮總督伊藤式部次長津輕木村兩式部官其他の文武官朝鮮學生總代等の

●訪問を受けさせられ種々御物話あり●

朝鮮式の午餐の後陸軍大將の軍服に御召替へ相成大勳位菊花大授章を帶び元韓國大勳位章をも御佩用あり午後一時三十分御旅館霞ケ關離宮を御出門あり御馬車の陪乘は尹贊侍伊藤式部次長にて閔長官以下の隨員も宮廷馬車に分乘扈從し松岡中尉指揮の近衞儀仗兵前後を警衛守護しまいらす。連日の雨も此の日は晴れて青葉を渡る風も涼しく沿道御旅端より東京驛前廣場へ掛けての兩側には堵列奉送する近衞第一旅團の整然たる隊列に日光美しく映ゆ參謀本部前にては二十一發の皇禮砲を發射し

●東京市役所構内には百發の花火を揚●

げて敬意を表し響き和次で中天に轟き亙る内に御列は同五十分驛の皇室御車寄に御著相成りたり。此時近衞師團の軍樂隊喨として起り諸隊は一令の下に捧銃を行ひ奉送す驛内は前日來美しく裝飾されて貴賓室入口より歩廊迄の兩側には紅白の幔幕運りて天井には蜘蛛手に國旗を張り廊下には目も綺なる絨氈を敷き詰め殿下には其間を昇降機により歩廊に上らせられたり是より先勅使海江田侍從、皇后陛下御使蜂須賀主事到著し伏見宮、同若宮、梨本、朝香、北白川、東久邇の各宮殿下にも奉送の爲め御先著あり松方内府、奥、井上、川村、伊集院各元帥、波多野宮相、寺内首相以下各大臣其他の文武高官三百餘名參集し四番線には

●七輛より成る特別宮廷列車待ち構へ●

たり。殿下には長尾中部管理局長の御先導にて四輛目の御召車に入らせられ隨員全部も乘車し終るや奏樂再び起りて殿下には勅使、御使、皇族各殿下其他に御握手を交させられ同二時諸員最敬禮中●御機嫌麗はしく御發車相成りたり（東京特電）

李王殿下　三島に御安著

名物の仕掛煙火と提灯行列を御覽

李王殿下の召されたる特別列車は二十日午後五時三十分三島驛に著し官民の歡迎盛なり殿下は直ちに自動車に召し隨員を隨へて同五十分小濱なる王世子別邸へ入られ軍服を脱がせられ朝鮮服に召し替へ打寬ぎて王世子殿下と御物語りあり夜に入れば三島町民が歡迎の誠意を表する爲め別邸の池畔にて同地の名物の見事なる仕掛花火及び町民の提灯行列等あり兩殿下共殊の外喜ばせられたり（三島にて特派員發電）

東郷司令官の奇禍

自動車より落ちて肋骨を挫折す　普門副官外四名も重傷を負ふ

二十日午後三時晉州馬山間乘合自動車が晉州を離る二里手前の下り坂にて運轉手が梶を過り晉州道廳に佐々木慶南道長官を訪問の爲該自動車に乘り合せ居たる鎭海要港部司令官海軍中將東郷吉太郎氏普門副官柵町主計中監外三名共に逸の谷底に眞逆樣に墜落し東郷中將は左肋骨二枚を挫折し其他皆重輕傷を負へり右の報著するや晉州よりは水野警務部長馬山よりは北村警察署長等醫師と共に現場に出張し一先づ郡北に引き揚げ手當を施せり東郷中將の傷は全快迄に約四週間を要す可しと二十一日昔鎭海に引き返せり（馬山特電）

▼山縣政務總監より見舞

二十一日佐々木慶南道長官より山縣政務總監に宛て左の電報到著せり　要港部司令官東郷中將、普門副官、柵町主計中監、普門副官昨日來晉の途中自動車顚覆し中將は左第四、五、六肋骨折し少しく血唾あり其他一行總て負傷し昨日警務部長、第一部長、警官等現狀に出張し郡北に引き揚げ手當中豫後良好なり本長官も見舞の爲め出張せり右に就き山縣政務總監より左の見舞の電報を發せり　御負傷の由御見舞申上ぐ一日も早く御全快を祈る　軍司令官の好意に依り室谷衛戍病院長を鎭海に差遣する事となり同院長は廿一日夜龍山發鎭海に赴く可し

心地よい驟雨

中心地は京城と仁川

二十日晝頃より南滿から國境にかけて發生した低氣壓は漸次南下して同夜に至り京仁地方は雷鳴起り同時に仁川の東方に起つた低氣壓は此れと合した爲め仁川及び京城地方は驟雨の中心地となつたのである降雨は午後十時三十六分に始まり十時五十七分に至り最強度を示し零時五十五分に至つて全く歇み此の降水量は仁川十五ミリ（一坪一斗八升）京城九ミリ龍岩浦二ミリ木浦五ミリ城津二ミリ釜山二ミリであつた（仁川）

我商船獨艇を擊沈す

郵船讚岐丸英國南岸沖にて應戰

日本郵船會社本社著電に依れば歐洲命令航路船讚岐丸は三月三十日横濱を出發せるが六月十五日午後英國南岸プリマウス港沖に於て獨逸潜航艇と邂逅するや直ちに突進應戰する事數分遂に之を擊沈し其後無事プリマウス港に入港したりと尙敵艇を擊沈せしめたる同船の砲長は福島縣人海軍一等兵曹馬場強次氏船長は熊本縣人宮澤清熊氏なりと（東京特電）

同盟罷工　千二百餘名

既報の長崎縣飽浦三菱造船工場の職工同盟罷工は擴大し千二百餘名に及び造船工事中止となり事態甚だ重大なり（大阪特電）

邦文タイプライター成功

大阪中央電信局にて實地應用

大阪中央電信局は苦心の結果四月邦文タイプライターの作製に成功し其使用を本省へ出願し同時に練習中の處廿一日より高速度の自動通信機に依り中央局に著する重信電報中一部の長文電報を翻譯する事となれり之れ電信界の大革命なり電報送達紙の樣式も近く變更す可しと（大阪特電）

江原道の降霜

京城地方にては九十度以上なる昨今江原道旌善郡道岩面龍山里、水下里、横溪里地方にては六月一日以降朝夕氣温十度内外を昇降し殊に三四の兩日は急に下降して降霜を見るに至れり而し農作物には別に被害なき模樣なりと

烏帽子丸歐洲より無事歸る

二十日神戸に歸著せる日本郵船烏帽子丸船長の談に曰く印度洋は戰時狀態にて聯合國の軍艦警戒し居れるも不安なる航海を續けたりと（大阪特電）

珍らしい朝鮮の鳥

漢江の水邊に　深山棲む　京城　さり

◆マミジロキビタキ　サンクワウテウと同類同科に屬せる可憐な小鳥で背面は大部分黒色であるが腰部と下面は鮮黄色をして居る、又翼には一大白斑がある、此の種が普通のキビタキと異なる點は眼の上の眉斑が黄色で無くて白色なる點である、夫れでマミジロキビタキと云ふのである、雌は背面橄欖色、下面黄白色で雄の樣に美しくない、然し腰部と肩斑とは矢張り黄色である、嘴は飛びながら蟲を捕つて食する關係上からサンクワウテウと共に扁くて幅廣い、南山や清凉里邊の樹林中にもよく棲んで居つて清喨玉を轉がすが如き美聲で鳴いて居るのを聞く巢は老木の空洞中に草葉蘇苔等を集めて造り五六月頃四個より六個位の卵を産む

◆朝鮮の外に　滿洲、蒙古北部支那、東南西比利亞地方に棲んで居るが多になると馬來半島に飛んで行く、内地では普通のキビタキのみ居つて本種は居らないとせられた、居つたのが近頃長野縣で採集せられた、多分渡りの際迷つて行つたものだろう、其の代り朝鮮には内地に普通に居るキビタキは居らない即ち滿峽一つで朝鮮のは眉斑白色で内地のは黄色である、英名でコレアン、フライキヤツチヤーと云ふ

◆オホヨシキリ　一名ヨシハラスヾメ、動物學上では鳴禽類中の鶯科に屬する小鳥である、體形鶯に似て其れより稍大きく背面は淡褐色であつて腹面は稍白く尾は稍長い夏季葦原の中に居て甲の高い元氣のある喧しい聲でケツケシケツケシと鳴く其れで一名鳴聲から葉葉子とも云ふ無黄の句に「石打てば葉きり葉に默しけり」はよく其の習性を云ひ現はして居る巢は葦の間に營まれ數個の褐色の小點ある卵を産む、食餌は昆蟲類で葦の中に居る小蟲を食する

◆京城附近で　は漢江の水邊に居つてこれから夏の暑い最中に盛んに静かな水邊の空氣を破つてケツケシケツケシと鳴いて居るのは誠に勇しい心持のよいものである、朝鮮の外内地支那東南西比利亞等で繁殖し冬になると馬來諸島から濠洲の邊迄飛んで行く英名をイースタン、グレードスラッシュと云ふ

揚州郡の火事

京畿道揚州郡九里面葛梅里雜貨商車尙鎭方より六月十五日午後二時頃發火里民四五十名驅付け消防せしも水利の便なく隣家洪泰山方に延燒し二棟を半燒して同三時頃鎭火せり尙鎭方にては豚二頭燒死し損害合計二十圓位原因目下取調べ中

愛讀者優待
京城日報社
本券御持參の方に對し一名限卅錢の木戸を廿錢に割引致候
東京相撲　木戸割引券
金泉興行中

呪はれたる女の運命

冥途の道伴れ（七）

業務妨害の廉を以て平壤監獄に拘禁された有松外二名の平日社員は彼等が最初豫期して居つたやうに簡短に事件は解決されなかつた、其の内に早くも其の年は暮に近くなつた。有松が拘留されて居る間に鑛山屋は又屢々お梅の許に足を運んだ

『どうだね、有松は可哀相ぢやあないか、訴訟の取り下げでもしてやらうか』斯んな事を云つて鑛山屋はお梅を弄つた

『お前さん命が惜しけりや、そうするがいゝやね』戯談らしくお梅は斯んな事を云つたが、それは決して冗談ではなかつた

『アノ排な爺を斬り殺して妾も死んで終はうか』お梅はこう決心した事もあつた。

有松が入獄してから長い間の恙しい血まで絞つて終つた鑛山屋は時々來てもモウ以前のやうに貢いでは呉れなかつた

『斯んな辛い思を爲て居るより死んで終つた方がいゝ、それには憎いあの排々爺を道伴れにしてやらう』とお梅は剃を引付て死裝束で鑛山屋の來るのを待つて居た事さへあつた。人殺をして良い鹽梅に其の場で自殺が遂げればいゝが若し又縛られでもしたら。と云ふ恐怖と今一度有松に逢ふてからと云ふ未練の爲めに彼女は朋輩の陰口や鑛山屋の嘲弄をじつと耐へて陰慘な日を送つて居つた。

そうして居る内に平壤日日新聞は從來の關係上其の鑛山屋の手に移つて社員は全部入り更り題號まで平壤每日新聞と改められた。

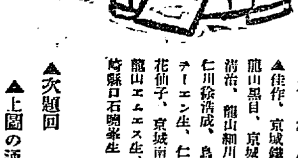
『野郎の新聞社を燒き拂つてやろうか』お梅はこんな事までも考へて見た。×××が新聞社を經營する事に成つてから間もなく有松等は保釋出獄した

久しぶりで逢ふた二人は恰度木から落ちた夫婦猿のやうに額を寄せて相談をして見ても溜息を吐くより外に好い思案は出來なかつた、金の貸し手は無し二人共に持物と云つたらこれんばかりだつて死てあやしない

『お前さん一緒に死んで終はうぢやあないかね、生きてたつてつまりやしない、それにお前さんも保釋で出て居るんだもの、これから公判をして愈々嗅い御飯をたべるなんかいやぢあないかねエ』お梅は話しの末には何時も斯う云つて情死を勸めて居た

併し男の方ではこの女の手に命を渡す事はどうしても能きなかつた。

讀者文藝（一等に五十錢　其他に粗品を呈す）



△狙めね

〇盥と洗濯板（一等）　龍山鐵道局　朴念仁

▲佳作、京城鐵吉、龍山黒目、京城江原滿治、龍山細川生、仁川徐浩成、鳥致院テーエン生、仁川風花仙子、京城南驛前　龍山エムエス生、長崎縣口石鶴峯生

▲次題同

▲上圖の通り

兄弟連の泥棒

高陽郡崇仁面龍頭里穀物商金相瞬方 [illegible] べの結果楊州郡眞乾面龍西里朴今石（三八）と言ひ實弟點石（三一）と共謀の上同樣手段を以て外八箇所の米屋より [illegible]

釜山上陸客

二十日午前八時五十分釜山入港新羅丸一二等客一等（九名米國人ウイルソン、英國人ホンブ [illegible]）

金信平、平田宮四、盧在善太郎、井門榮太郎、同なつ子、同まつ子、川口通義、同まつ、同よれ子、川合よ子、木村幸太郎、山田六、黄廷鉉、横山誠介、木村かつ、村山丈藏、中村健太、三上庄次、同つな（二等）百七十三名 [illegible]

國人トーリス（二等）二十七名、妹尾正胤、加藤巳 [illegible] りつ、荒尾光雄、小林重太郎、礒部 [illegible] 清水さだ子、同直藏、井上源吉、露國人エヘンゲー、同マランエラ、同ユサラー、福津三郎、同藤四 [illegible] 同とし子、松井きよ子 [illegible]

【讀者文藝】課題及び募集規定

△川柳（百）　同日　同　廿三日

△物は付 [illegible]

▲募集規定　同形の半紙一枚毎に▲用紙は端書又は紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲締切は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更へる事總て一種二句以內の事

天氣　晴れ

▲六月廿二日（廿一日午後六時より廿二日午後六時迄）

商況

東京公債直取引（特電）二十一日前場

五分利特別	九五、二〇
五分利	―
一回四分	―
二回四分	―
甲五分	九五、二〇

深川在米特電　二十一日現在高

鮮米	九三、七七三
臺灣米	四〇、四二七
内地米	一七六、二五一
計	一、七六二、五一六

東京期米特電　二十一日前場　八月限

寄付	二三、一五
前場高値	二三、二二
安値	二三、一三
止め	二三、三五

大阪三品特電　二十一日前場

六月限	二七六、六〇
七月限	―
八月限	―
九月限	―
十月限	―
十一月限	二七三、九五

大阪期米特電　二十一日前場

寄付	三二、一三
中限寄付	―
先限寄付	三三、八〇
五節	―
七節	八七、三〇

下關期米特電　二十一日前場

當限	中限	先限
[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

●綿糸布小鈍し　二十一日の大阪米棉は九十圓七十錢　五錢高　龍レー現物九十十二

●稍々上疲　米棉は前日の三圓高に續いて更に五十錢の入電にて高く綿糸布は何れも反動的に高く

●露貨二百卅臺　二十日哈爾賓に於ける露貨は二百三十二留となり同日長春にては二百三十四留となれる由

●銀價頭打ち　五十錢安　二十日大連市場金票換算相場百圓に付銀二十二圓二十錢と前日より五十錢安を報じ同日朝鮮銀行入電なく前日の一に保合ひなり

●錢滿洲大豆浮足　十二方引き締　二十日大連市場大豆先物は銀安に連れて下落し七月物五圓三十三錢八月物五圓四十錢九月限同十二錢十月限四圓八十五錢と各前日より七錢乃至九錢方落ちたるに現物は却つて前日より十三錢方引き締まる

●麥不作と麥安　今春來の氣候不順に祟られし如く麥作は各地とも不良にて頗る各當業者間の報告は皆同作減收を傳へ當業者の不安は少くも三四割減收とも信ぜらるゝに拘らず過般發表せられたる官邊の報告には僅に大麥四分、小麥一割の減少に過ぎずと稱せらるゝに因り世間稍安堵の色あれど其何れか如何なる程度まで信憑すべきやは疑問なり各地個々の通信中主なるものを略記せば次の如し 裡里院大田鳥致院を中心とせる地方并に京畿黄海の一般地方皆凶作を免ぜざるなく甚だしきは四割乃至五割減收を稱ふるもあり殊に慶南北地方は平年に依らざる唱へなれば京畿黄海を平作以上と見做して三南は大一二割の減收を免れず然し當局の觀する所は依然たるが如く見越して少くも一程あり又市場人氣は如何なるにや地方小農は朝食の食料缺乏を訴ふるもの多きは偶以上の兇作唱へに與り居るもの嗚り新麥の出廻りは不振なるが如く大小麥共に市中移入少きも六圓前後 報の如く大小麥共に市中 [illegible] 麥さへも待ち走り麥見本到着未だの取引なきもよろしく 入 下落し新物 五圓四五

輸出向海産物（仁川）

沖諸島及黄海平安の沿岸干潟に産する貝類は從來製法と販路の途を知らざりし爲め鮮人間には殆ど之れ等の漁獲を閑却せられつゝありしが昨年頃より支那輸出好況と價格の暴騰に刺戟せられ漸次其の漁獲に手を著け本年は輸出の販路拓け初め殊に本年は其の出荷激增し同市場に集まる向少なからず爲めに在鮮邦商に於ても漸く之に著目する事となり之れが同市場に於ける取引高も多額に上り本年は既に今日迄仁川市場にて取引行はれたるもののみにて

櫻鰕百斤　入六千個　揚卷五萬斤　內外に達し其他一一倍三倍激增

今後此の漁期の盛期に入るを示し通すれば其數量は尙ほ多量に上るならん尙同沿岸一帯には此外海産の遺利多く之等の種目は恐らく又豐富なる利益を以つて中には大資を投じて經營を企圖せる向もあるもの如し

下關相場

▲朝鮮白米は變らず　依然内地米の形勢面白からぬに連れ當商買氣迄まずして賣れ行き鈍く近來出廻り僅少なるのみならず産地も兎角安からぬに連れ各米主の賣り急ぎるに依り格別人氣變らず

▲小豆は變らず　本品は依然小口の賣れ行きに過ぎざるも既報の如き事情の下に別段賣り急ぎ物の現はれざる爲め格別人氣變らず

▲大豆は依然狂はず　本品は引續き相當に出廻りあるも前報の如く下地ら眞物多からぬ折柄産地も兎角安からぬ勞各手持筋の安くは手放さざるに依り市況弛まず新義州産の韮品百二十一臥許りは十三圓丁度に手合せ行はれたり

仁川期米

二十一日（保合氣迷け）

天候曇　兵庫前寄二十二圓二十三錢丁度に大阪天候曇　昨止同事

八十錢にて寄り後先十八圓五十五錢と入電に寄付　四錢安に寄付　同所多く六十一錢と仲したるが反りは又賣物多く

大阪五節七十錢と　移りにザラ〳〵五十四錢と下押びたるが　安　大阪七節八十三錢　十六錢七

高移りに六十一錢と高移りたるも戻りは賣り物多く五十七錢と押し　保合の裡に小變動して保合

▲二十一日前場　前場先限十八圓九十錢（?）[illegible]

市場零聞

▲依然保合　天候は昨夜十時過ぎより雷雨ありたるも二三時間にしてやみ朝來快晴大阪前寄同事の入電に十八圓五十五錢と小安く寄付たるも買物多く六十一錢と跳ねたるが今晝⊕益其他より賣物多く大阪跡安を移して五十四錢と押したるが大阪跡高を受けて今晝益⊕益其他より買物現はれ再び六十一錢と返し五十七錢と押し九錢と散會を告げたり昨夜の雷雨も今朝名殘なく快晴となりしと大雙は降雨の量少かりしと云へ

▲降雨の區域狹少　なりしならんとの見込みなると大旱の場合僅か二三時間の降雨が如何に大雨なりしにせよ左したる影響ながらんとの

仁川米豆取引所

二十一日の八月限

前場	
寄付	十八圓五十五錢
止め	十八圓五十九錢
高値	十八圓六十一錢
安値	十八圓五十四錢
出來高	二萬四千二百五十石

平均値段	
一節	十八圓五十九錢
二節	十八圓五十九錢
三節	十八圓五十七錢
四節	十八圓五十五錢
五節	十八圓五十八錢

賣買取組高

六月限	五百石	
七月限	五十石	
八月限	三萬八千二百五十石	
二十日後場	前日と比較	
一八、七一	一六安	
一八、五九	―	
一八、七一	三〇安	
一八、五七	一〇安	

小賣白米

現金賣　一等白米　二十三錢　次白　二十二錢五厘

白米標準値　二十一圓六十錢

▲新高値に進む　動機に觸れ更に

▲人氣氣迷ひ　押目は買物多く

▲今（?）同店の賣五千餘石買五千餘石　▲⊕同店の賣四千餘石買四千餘石　▲⊕同店の賣三千餘石買二千餘石　▲⊕同店の賣三千餘石買三千餘石　▲④同店の賣二千餘石買二千餘石　▲⊕同店の賣五六百石買二千餘石　▲同店の賣二千餘石買千餘石　▲同店の賣千餘石買三四百石

十錢の見當

なるべくこれより手惜はせ行けれんが旱天續きの買り合みに充分の出廻りは望み薄かるべしと測る

燐寸眼先高

燐寸は過日來尼崎汽船に於ては貨物積合せの都合上積載餘力を存する場合に限り荷包裝の儘にて若干宛積送する事となり居りしも其後一層見るべき入品なく市場は今や品切れに瀕せるが今回更に大阪燐寸製造業者組合と船會社との間に交渉纏まり七月中は舊包裝の儘積取る事に決したるは前報の如くなれば近かく入荷を見るに至るべし大阪相場は最近殘分弗騰せし模樣にて且つは運賃引上げの行を控へ新著の品は多少高値越さ見れつゝあり

麥粉は強硬

麥粉の値品は爲め一般の需要捗々しからず荷動き頗る不振を呈しつゝあるか滿洲粉の輸入少なきと内地製粉は一時米安に連れて行惱みの姿なりしも其後又々氣直り模樣を呈し最近の東京相場現物三圓六十錢七八月物三圓十五錢にて關西筋は之に比し一段上鞘 [illegible] ぜられつゝある折如何に拘はらず強硬の成行きを告げ居れり現下コイ、ダイヤ共に三圓六十錢が普通取引値なるも眼先更に幾分引締まらん傾向あり

仁川米豆取引所
合　仲買店
主任　西川平治郎
電話一五八番　長一五九番
自宅　電話七二〇番

精米ヂリ安

正米は案外降雨の反響薄く市況軟味の裡にも買人の頑强に相場は支へ依然として持合の範圍を脱せざるが精白米は値頃の高き小賣業者及需要共に限先の下落を歡迎し一般賣行き頗る鈍狀にして移輸出は又昨今殆ど杜絶となり [illegible] 要搗精米所は各自不引合の程度迄採算上釘値上　市中に販路を爭ふ　相場下げの押は過般の高値二十二圓處より引下げ米所としては何れも少なからぬ苦痛を感じ居れり斯かる事情にて精米は今日にては二十一圓六十錢となり居れり

小賣業者　値段に反感なく押通し又々今回の下落を見つゝあるに拘はらず今日に於ても二十一圓六十錢口多く何れも [illegible]

南大門の廻穀

仁川大豆	八七叺
新義州大麥	四五叺
南川小豆	七八叺
南川籾	三二叺
平澤白米	一四叺
沙里院胡麻	五五叺
群山碎米	一三六叺
新義州粟	二八叺
沙里院大麥	三六叺
平澤白米	一三〇叺

新義州粟　四五叺　西井里白米　三六叺　水原白米　一六叺　平澤胡麻　二〇六叺　汶山粟　二七叺　金泉胡麻　八二叺　金泉荏子　四九叺　釜山麥　五一叺

釜山穀物（二十日）

▲正米（保合）　當市場賣り物は依然貯藏品のみにて外ならず本邦大阪定期米は一巢に急騰を演じ寄り付き値は約三十五錢の跳ね返しにて二十三圓の關門を突破して十四錢迄伸びたる商狀なり當市場の買氣人氣は昨今一向買氣引立たず只三四口により弗々買ひたれども未だ必需品は依然強硬の態度にて容易に手安く賣らず賣ひも其需品に應ぜず商談は一般に出來ず其相場に依り立たず五六錢高にて手合せありしも先づ保合の商狀なり

▲大豆（保合）　賣り物も相變らず豐富ならず僅かの取引ありたるのみにて市場閑散なり

生魚市場

總出來高金六千九百五十二圓、大豆百二十個

元山サバは頃日來に比し餘程著荷を減じ釜山方面よりは少數入荷の需著ありしのみにて其他は殆ど仁川物なりしを以つて占め居れり氣配格別ならず出來値左の如し

▲タイ一四、サワラ一〇、スヾキ一〇、ヒラス一〇、サバ三、ハモ九、ヒラセ、マナガツヲ八、小エビ一〇、カニ五、マス一六、モエビ一八、ニベ六、アジ八

釜山水産市場（二十日）

本日は入舟少なく市場淋しく相場は幾分高かりしも水揚近來になき少額なり

入船數六十七隻十〆目建

▲タイ十圓▲小アカ二圓五十錢▲アマダイ（?）▲ヒゼ十六圓▲ヒラメ八圓▲タコ五圓▲スヾキ六圓▲ハモ七圓▲アジ三圓▲サバ二圓▲雜魚六圓

水揚高六百六十一圓六十三錢

人氣氣迷ひ

押目は買物多く見解にて押目は買物多く之迄より此處大天災期なり

正米只又存外落付

大變動期に際し人氣の動搖頗ぶる激甚なる者あらんと思はれしに新甫發會以來大變動後の小康なるか存外落付模樣を呈し居れり是畢竟大天災期なるも前日の小雨に次ぐに昨夜の雷雨ありたるより如何に大旱に變化しつゝあるの場合なりと雖も人氣の上に大緩和を與へたると今や變質時期に外ならず是は大阪の成行又一高一低の居大保合を演じ居る事にて此處大天災期なる丈け好天氣の成行又一高一低き居る

十日を經過遂に本年の植付は不可能

一週間乃至

二回の小雨にて却つて市場は少しく附和雷同的に振ひたる者の然れども市場は少しく昨夜の雨にて植付出來得るものならず殊に鮮の降雨は一局部なるべしとの觀ある者の狀態にて今後の降雨如何を氣遣ひ一般人氣は未だ一時一週間ないし十日を經過せん程にか本年の植付は不可能となるべく其以内に十分の降雨あらば後れながらも植付も出來得るに依り此間の天候如何は大に注目に値すべく決して忽がせに非ざるの分岐點にて大に注目に値する者あらん人氣の氣迷ふも又無理からぬ事である

▲保合分岐點

新甫以來の大變動相場も小康を保ち大保合となり氣迷ひとなりたるも時何時迄も保合を持續する者ならず驚天動地の大變動を惹起する者ならんか今後保合相場の分岐點に就き弱氣筋の陣る處に依れば本年の旱魃は早魃に相違なきも南鮮地方は歷降雨ありとの事他方も時々小雨ありたれ居るより今後十日以内に降雨の來らば相當の植付も出來得べく兎に角米價は高値にある時は旱魃地に代用食料として粟其他の代用品が存するに依り粟作地及び外補の代用食料に存し

外補の代用食料に存

並に强氣筋の主張する處によれば本年の旱魃は近年になき激甚なる者ありて從來の旱魃は今日に及び居るの際今後少量の降雨あるも到底十分なる植付は望まれず内地各市場の形勢は鮮地の旱魃に依つて高きに非ず米價の大勢は向上の機運に向ひ居るより見れば安値に馴致し居りたるも他の諸物價に比較して米の値料安なるは何人も肯きうる所

♣「休んでいらつしやい」——廿一日正午本町通りにて——

玉簾!! 涼しい氷賣りの聲

▽京城市中に氷屋が五百餘軒

暑い、暑い日盛りにはポプラやアカシヤの街並木の蔭が戀しい日和つゞきの此の頃はどうやら氷屋さんの天下になりかけた、京城の警察署や憲兵隊には昨今毎日引つ切りなしに氷雪清涼飲料水の營業者が詰め掛けて營業願を出して居る・

■今日迄に許可された 本年の小賣營業者は本町警察署管内が約二百軒、鍾路警察署管内で約百三十軒龍山分隊管内で六十五軒ばかりで合計約四百軒に達したがまだ續々殖てゐる模様だ、兎に角京城市中の氷屋の數は毎年大抵五百内外あるさうだ、大は堂々たる建物を控へたものから小は公園内の掛茶屋、出廻り賣り迄あつて何れも

■その準備に目を廻してゐる、燒栗、燒芋、汁粉、飴湯、すき燒なんどの冬向きの招牌が取り拂はれて、涼しい玉簾や硝子玉の暖簾に色附提灯が吊され赤や青の濃厚な色で『氷』と染め抜いたビラなどに早變りされた店頭に浴衣掛の若い女なども見ゐる、又朝鮮人側では蜜柑水、薄荷水、桂水のやうな果實水や清涼飲料水もよく賣れ行くさうである商賣の仕方から見れば

■清涼飲料水専門の家と飲食店を兼業して居るもある、斯うした商賣は割合に資本も掛らず、先づ取りつき易い爲めか其の數が割合に多く、一寸した掛茶屋で營業するには資金の三四十圓もあれば樂に出來るさうである、京城で賣つてゐる氷塊の原料は主として漢江から供給されてゐる、昨冬は寒氣が酷しかつたので、氷結も極めて好成績であり衛生試驗室で分析の結果

■龍山附近で採取した ものも殆ど飲料用に適するさうで龍山附近に貯藏してある分だけでも六十五萬貫許りはある、其他高陽郡龍仁面一帶の漢江岸から採取したものも澤山貯藏してあり多くは冷却用として京城市中に供給してゐる或は江華島あたりから漢江を溯航して生魚を持込み歸り舟では氷塊を積んで江華島や仁川あたりの魚市場に賣り込んで居るのもある、冷し用の氷は魚市場、醫院、料理屋などが主な需用先きとなつてゐる

■市中の小賣營業者に は別に大儲けはないが貯藏業者になると意外な利益を占めたものも尠くない一昨年あたり漢江上流の楊花津で朝鮮人採氷貯藏業者の如きは僅か一冬に數萬圓の巨利を博した所謂氷成金もあつたさうで、総じて氷業の方では何日でも雨が降らず、炎天が續きさへすればホク／＼者になれるとは同業者の實話である

平壤の二大工場落成

平壤橋口町に今春來建築中の朝鮮製肥工業株式會社工場及び中村組と京谷商會の合資會社となるべき京谷商會の耐火煉瓦製造工場は何れも工事竣成を告げ

◆製肥工業會社 は已に十五日各重役立會の上試運轉を行ひたるが多少機械の据付につき改良を加ふる點あるを認めたる外成績良好にして本月下旬より愈々骨粉肥料の製造に着手すべしと同會社下島支配人は語つて曰く一日一萬斤の牛骨は粉末肥料として製造することを得べく目下材料としては十萬斤は買入れある外更に十萬斤の買入特約あり已に機械の運轉し得らるゝ今日に於ては着々製造材料を買入れ盛に製造並に販路の擴張に努むる考へなり來る九月は第一期決算報告期なれば該報告期までに相當の成績を擧ぐべき計畫なり云々又京谷商會の

◆耐火煉瓦製造工場 は已に五十馬力の吸入瓦斯發動機及最新式一萬貫粉碎能力を有するフレツド二臺並に最新式窯四臺を据付けたり目下のところに於ては煙筒を建設することのみ殘り居れるが該煙筒は高さ百二十尺煉瓦造りにして平壤のレコード破りとも云ふべく本月下旬までに竣成する見込なれば愈々製造販賣の事業に着手するは來月中旬なりと云ふ同商會に於て製造する種類は(シヤモツト煉瓦)三十番より卅五番に至る良好なる耐火粘土を使用したるもの次は蝋石煉瓦(三十番より三十三番に至る)優良なる蝋石を使用したるもの其他珪石マグネサイト等無限の原料を使用したるものにして本年に於ては一百五十萬個を製造し來年度は三百萬個を製造する由なり尚製品及び原料搬出の爲め平壤驛より同工場に至る約三町の間鐵道引込線を敷設する計畫なり愈々製造販賣するに至らば從來の內地移入品は驅逐せらるべく隨て朝鮮及び滿洲方面に於ける工業界は更に大なる利益を得ることゝなるべし要するに此二事業は西鮮に於ける工業界の創始にして平壤發展の魁を爲せるものと云ふべし(平壤)

慘!! 奴隸賣買市場の如き光景

山東省苦力一家眷族を伴ふて滿洲へ出稼ぎ 草根木皮も盡きた地方もあると某歸來客語る

最近山東省より仁川港に入港したる歸來客の談を聞くに、北支那一帶の旱魃は非道い者だ、山東省濟南天津方面では三月頃から雨乞ひを始めたが依然として降雨がないので麥其他

■粟高粱の收穫は全く絶望で農民は恐慌以上の大恐慌で現今では極端な處になると草根木皮の種も盡きて了つた相である滿洲からは盛んに高粱が移入されつゝ有るが非常に高價な爲めに細民は購入する事が出來ず子供を賣りに出しても買手がない自分は實見はしないが噂に依れば我子を市場へ賣りに出す、賣つた者は

■親子愛著の念に索かされて縋り合ふ、それを買手が打ち乍ら引張つて行く、買れない者は一家眷族が餓死すると言つては我子を引廻し乍ら泣歩く其樣は慘澹たる者で傳へ聞く黑奴解放以前のアメリカの奴隸賣買以上の悲慘な光景を呈してゐるとの事である、最近仁川から糯の輸入があつたが、此は餅にして食べるのであるが石粉が入つてゐるのでどうかと言ふ話もあつた

■然し今後各地から試驗的に注文する者が多く なるであらう、山東省名物の苦力は從來獨身者の出稼ぎが多かつたのであるが大饑饉の爲めに老幼男女相率ゐて滿洲へ滿洲へと押寄せて行くので、一船七八千人位の苦力の上陸は珍らしくない、今後仁川通過苦力の數も又激増するであらう云々(仁川)

紙幣僞造行使

平壤府水玉里無職金泰國(二十)は崇實中學校を卒業し相當素養ある身に不拘常に放蕩三昧に其日を送りいたるが遊興費に窮する處より竟に惡心を起し五月十日自宅に於て朝鮮銀行一圓兌換券十三枚を僞造し内十枚を平壤市内鮮人煙草屋又は菓子屋に於て物品を買ひ釣錢を騙取し居りたるが最後の一枚を六月十七日鮮店里雜貨商金東稷方に於て行使せんとする際恰も同所を巡察中の平壤憲兵分隊の憲兵補助員金寬德が發見し取押へ分隊に引致取調べたる處悉く前記の次第を自白したれば六月二十一日平壤地方檢事局送りとなる(平壤)

手藝教育智慧の泉 京城

舟橋町百五十番地の野本玉堂氏は此の程『手藝教育智慧の泉』と名稱を附けて家庭的娛樂品を考案して賣出した一昨秋の共進會に出品された模型の如きも大部分は同氏の考案作製に成つたものだ之れが爲めに家財も隨分消費したそうだが武具又神物を應用して衛生材料の研究をして居るが之も近く其成績を發表すると云つて居る此の智惠の泉は最初朝鮮の昔流行した七巧圖なるものから思ひ付いたのが原で三個年の歲月を費して此程漸く完成するに至つたので目下專賣特許の出願中であるが各方面から稱讃を受け森安博士其他の名士は詩や歌を送つて其成功を祝福した位である此の智惠の泉は僅か七つの木片で人間は云ふに及ばず山川草木鳥獸器物其他六百餘種の形狀を作製し得る趣味津々たる教育的玩具である嚴谷小波氏から寄せた句に曰く『子の智のかうも湧けよと清水かな』

渚の砂

■農夫と大金● 尾張愛知郡[illegible]村農伊東市重は十一日村の道で荷車を曳いて働いて居る内愛知郡銀行員の遺失してあつた現金八千五百七十五圓五十八錢五厘入りの風呂敷包を拾つて屆出し謝禮金四百五十圓を貰つた

■檻の熊に殺さる● 德島縣名西郡石井町生れの河原德一(一六)は動物芝居の島津春郎に雇はれ此程大阪府泉北郡湊町で興行中酒に醉ひ熊に餌を與ふる爲め檻に這入つた所を熊から咬みて殺された

■失戀の巡査● 岡山縣御津郡玉柏村駐在巡査永井勇(三六)は前任地大野村で佐藤まさ(一九)といふに思ひ焦れたがまさは此頃他に婚約が出來たと聞き十四日朝大野村内の野殿川に投身自殺を遂げた

■六人殺死刑● 一昨年十一月二十一日[illegible]炭坑長夫妻、自分の妻と外二名と合計六名を殺傷した熊本縣上益城郡大島村生れ[illegible]中島五太郎(三四)は六月十五日死刑を執行された

■訓導の自殺● 福井縣坂井郡北潟村波松小學校訓導[illegible](二五)は家庭の不和を悲觀して家出し辭世の歌に首を殘して十一日朝[illegible]の端に投身自殺を遂げた

■繼母を一刺● 和歌山縣海草郡[illegible]村山本長一郎(二四)は本年一月妻を迎へたが繼母のつぎ(四五)が苛め立てる爲め妻は居堪らず風波の絶ゆる日もなかつたが本月十四日長一郎は繼母を短刀で刺し殺しては自首した

■父を諫めて● 高知縣土佐郡下知町鍛冶職[illegible]助(四八)は酒色に溺れて家人の諫言も更に肯入れず十四日夜喧嘩して飛出して遊廓で騒いで居る内娘の[illegible](二三)は父の亂行を悲觀して服藥自殺を遂げた

朱安挿秧始る

素砂は旱魃に苦む

仁川郊外朱安附近水田は目下植附準備中なるが同方面は比較的水豊富にて困難ならず二十四五日頃迄には挿秧を終る可しと因に素砂方面は水多き部分は目下挿秧に着手したるも其他は何れも雨を待ち居る者の如く苗代の如きも漸く濕氣を保ち居るに過ぎず今後一週間内に降雨あらば挿秧に差閊へなきも十日以上降雨無かりせば龜裂を生ずるに至る可し(仁川)

淨瑠璃便り

◆師匠淨瑠璃會初日

[illegible]族と提灯で美しく飾り立てた[illegible]館場内の正面に準へた舞臺は[illegible]入りの大床[illegible]周圍には黑塗りの綺麗な見臺、襖[illegible]床しく配置してある▲淨瑠璃には附き物の大蠟燭に灯が點つて南次太夫が一の谷二の中を語り出した頃から客足が加はつて來た右桟敷には若葉家の連中、左桟敷にはつぼみ連か場所狭き迄に詰め掛けた▲流石に師匠連出演のこととて各自負々の天狗連が多く各師匠の出演毎に一生懸命に力瘤を入れてゐる、若登太夫の白木屋がすんで梅若の太功記が始まつた頃は殆んど滿員の盛況、雛太夫さ、鶴島太夫が濟むと名所で品定めが始まる▲雛の語り口は何うさか斯うとか批評百出、一方で褒めるかと思へば一方で貶す、斯の道にかけては好き者の寄り合ひだけに却々素破らしい意氣込み、掛合は野崎村は太夫連の顔揃ひでなかく面白かつた▲各師匠の淨瑠璃の品位、[illegible]の態度、語り振り等に就ては五日間聽いた上で總評を試みる事とする(鶴之助)

◎師匠淨瑠璃語り時間 壽館に於ける彌島太夫歡迎會二日目の出演時間次の如し
▲御所櫻[illegible]太夫(七時二十分)▲朝顔宿屋南次太夫(七時[illegible]分)▲花井お梅奈良梅(八時三十分)▲[illegible]川戸若登太夫(九時十分)▲本蔵[illegible]太夫(十[illegible])▲掛合堀川(十一時)

……侵入し白米一叺を窃取して逃走せんとする所を相識が發見し格鬪の末賊は取押へ京城分隊に引渡したり取調……一回に白米五六斗位を窃取して食用又は賣却したる旨自白し兄弟は目下引續き取調べ中

……二等(四十名)齋藤時造、末森捨吉、福島喜三郎、同きぬ、同よし子、藤野小十郎、太田敬太郎、佐藤重治、陣内不可止、柄澤やゑ、金井しづゑ、同一郎、[illegible]光幸之助、三浦德一、同龜野、早川省三、同[illegible]達郎、黒川濱七、西吉之助、上野勝二郎

……丸一二等客 一等(十四名)間淵萬太郎、閔辛重、藤本信太郎、[illegible]コーガム、同アツナザブ、[illegible]ガマントピジー、同夫人、同小兒、同ルボパート、印度人マカパー、[illegible]ムボピン、同センテン、同夫人、英……

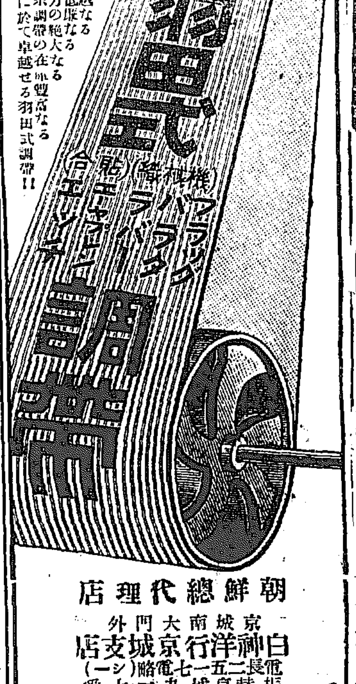
△一口噺「其時々の事」六月廿四日 △下旬付「云ひ出した」同廿六日 △[illegible] 同廿七日 △俗謡「土産」同廿八日

……通告者には五十錢書籍券を呈す(但)何號何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

宮内省御買上品 原料香水 オリヂナル
月と日が世界を支配する如く 香水界は全く
オリヂナルの世界となつた 朝に一滴 晩に一滴 言ふに言はれぬ床しい匂ひ
東京本舗 安藤井筒堂 關西代理店大阪 藤森源之助

宮内省 皇后宮職 各宮家 御用命

若々しくする美膚料 クレームレート
◎きめを細やかに美しくす ◎お肌を滑らかに艶しくす
日焼け……を防いで 色白く……見せる 不思議なクリーム
東京 平尾賛平



羽田式 パラタ ファイバー(機械織) 貼合 調帶
國産品の優越なる 價格の低廉なる 製造能力の絶大なる 各種綿糸調帶の在庫豐富なる 總ての點に於て卓越せる羽田式調帶!!
朝鮮總代理店 京城南大門外 白神洋行京城支店 電話長二五一七 略(シー) 振替京城九二七番

ニユーマチツクホース ハイドロリツクホース 專賣特許機用ナシ編組製ニシテ高壓用トシテ天下一品ナリ
製紙及染色ロール 如何ニ大ナル寸法ニテモ完全ニゴム巻加工シ好評嘖々タリ
醫療器用ゴム製品 特ニ醫科ナル機械ト技術トニ由リ製出セラレ出藍ノ稱アリ
其他ゴム製品一般
明治 自轉車用 自働車用 タイヤ
明治ゴム製品 販賣總代理店 東京市銀座二丁目 鐵材機械雜貨輸出入業 米井商店
支店 大阪市今橋四丁目 神戸市榮町四丁目 出張所 横濱市元濱町 横須賀市諏訪町 門司市本町 呉市中通四丁目 京城黃金町二丁目
最寄の店へ御註文

特別興行
大好評初日滿員御禮
平和? 戰爭? シビリゼーシヨン
跡四日間限り(土曜、日曜日は晝夜二回開演)
大正館

ポケツトへ!!

定價 三個入金四十五錢 一個入金十五錢 (各地小間物化粧品店 藥店、雜貨店にあり)
結晶香水 香晶
京城代理店 新井藥房

明君道中記

第百八十三席　田邊南龍口演

嶋田宿の問屋場で田村宇平次が毛利家の重役宮澤藤太夫に面會を求め宇『早速申し上げますが、毛利家の通行に就て往來止とのこと、右にては旅人共困難をいたします、分けて手前が召伴れましたる者は金多宿の者にして、母親の急病との知らせに一刻も早く此の川を渡し遣はしたく存じます、何卒我々を先へお渡し下さる樣願ひ度』藤『イヤ御最もではござれども其儀は相成り申さん、我々の人數が打渡つてからお渡りなさい、それまで待つたからとて如何程の時刻が延るといふ譯でもあるまい』

宇『只今申す通り一時一刻を爭ふ場合、若し遲刻いたして親の死目に會はざれば嘸ぞ當人は不本意なことであらう、是非共お背入れを願ひたい』と懸合つて居ります横合から下役の侍四五名其處へ出で○『コレ〳〵何を申す、毛利家の御通行濟ざる内は何者たりとも渡すことはならん』『成らんと云つたらくどいことを云はんで歸んなさい』と突如立て參つて宇平次の手を取つて引立んといたすから、宇平次はムツといたし宇『何をするか』と其者の手を逆に取つて引いたバツタリ其處へ仆れる、是を見て同僚の者『ヤア手向ひをするかソレ突出してしまへ』と大勢立かゝつて來たから宇平次は其者共を右と左へ投仆す、問屋場前は喧嘩々々といふ大騷ぎ、處へ表から飛込んで參つた三宅宅兵衞、宇平次と共に毛利の家來を右左へ投げ仆して居る、長七郎は是を見て長『コレ毛利家の役人不禮をいたすな、松平長七郎であるぞ、宇平次宅兵衞不禮を働く奴は容赦をいたすな』是れを聞いて宮澤藤太夫其處へ出で藤『ヤア各々方慮外を働いては相成らん靜り候へ』人々を制して長七郎の前へ兩手を支へ藤『駿府若爺樣にはございましたか、存せぬこととは申しながら意外の失禮御高免を願ひます、宮澤藤太夫御詫を申し上げる』長『何毛利家の臣宮澤と申すか、予は長七郎である、早速此の娘を渡してくれイ』藤『委細畏り奉る』と直樣毛利家より川役人に沙汰となつて上等の手摺附の蓮臺へ長七郎を乘せ其他の者は並の蓮臺でございまして大井川を渡します、川越し人足も毛利家より御聲がかりで尊き御方といふから不禮のないやうにして大井川を渡しました、長七郎は是より娘を伴れて彼の家へお出になりましたが、兩親の喜びは幾許でございませう涙を流して御禮を申上げる、其の夜は娘の家にお泊りになりました翌朝お目覺になつて金谷宿本陣に毛利大膳太夫止宿と聞いて長七郎自ら御出張され毛利家へ面會をなすつて此の娘の家再興をお賴みなすつた故、大膳太夫も孝行娘の心を感じて若干の金を出して普請をいたし金谷宿の本町といふ處へ立派な旅籠屋を出して遣はしました家號を孝行屋と命けたが今以て金名宿に殘つて居ります、其娘はきぬといふ者此へ婿を取り子孫繁昌するといふのも皆松平長七郎の情けでございます　偖漸く金谷宿にお在なされた長七郎娘のきぬに別れて當所を出立する時に親子の者は途中まで御送り申し上げる、實に善根を施したほど快い心地は無いものでございます、是から何のお話もなく來かゝりましたのが遠州濱松の手前ざざんざの松の邊りまでお出なさると、向ふから來りました二人の侍旅裝で醉てでも居るかして一人は刀を三味線の樣に持つて口三味線でデン〳〵と三味線を彈く眞似をして來る、一人は頰へ手を當て義太夫を語りながら遣つて參りました

齒科診療　野田醫院　本町一丁目三越向　電話一〇四七番　齒科醫士　野田應治

メリヤス專門　尾張屋メリヤス店　京城本町二丁目　電話六一四番

新鮮朝成牛乳　衛生病院ホテル御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

六月二十三日　土曜　舊五月五日　本命四綠　[illegible]

演藝案内

浪花館　明治町　電話二六〇　[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三　[illegible]

壽座　京城壽町　電話七五八番　[illegible]

黃金館　電話二六三七・六五二　[illegible]

有樂館　電話（局下）二〇五番　[illegible]

壽館　京城壽町　電話一〇〇三　[illegible]

●マラリアに一番　ヨクキククスリ八龍山林藥房製劑の　マラリヤ特効丸　價金十錢三十錢五十錢　本舖　京城本町二丁目　龍山林藥房　代理店　山岸天祐堂　大阪唐物町四飯田商店

易　周介　石堂　明治町二丁目　岡村介石

東京紙料株式會社株式募集

◎等閑せられたる製紙原料　確實なる調査に依れば内地のみにて一ケ年間製紙原料の骨子たる襤褸二千百餘萬貫紙屑一千五百餘萬貫の蒐集力を有するに拘らず目下蒐集利化されつゝあるは其の何分の一だに不及爲めに高價なる木製パルプを輸入使用しつゝあるは一大恨事にして等閑も亦甚だしと謂ふべし我等茲に鑑みる所ありて本事業を企畫し安價なる原料を製紙業者に供給せんとす

[illegible]

大正六年六月　東京紙料株式會社

創立委員長　子爵　遠山友鄉

顧問　法學博士　松崎藏之助

顧問　醫學博士　遠山椿吉

顧問　醫學博士　額田豐

相談役　植村俊平

相談役　木村庫之助

追而定款目論見書申込用紙等は左記申込取扱所に備置候

株式募集要項

一、目的　製紙原料の蒐集賣買、一般屑物の賣買

一、資本金　金壹百萬圓

一、募集株數　總株數二萬株の内四千株

一、申込價格　額面以上（單位を十錢とす）

一、申込證據金　一株に付金參圓五拾錢（第一回拂込金十二圓五十錢に併算す）

一、申込株數單位　拾株

一、申込期限　六月十九日より廿六日迄

一、募入決定方法　高價のものより順次募入し同一價のものは按分比例に依る

一、超過金拂込期限　第一回株金拂込と同時

發起人並に賛成人（次第不同○印發起人）

伊豆凡夫　星野錫　日高榮三郎　山下秀資　植村俊平　遠山椿吉　額田豐　鵜澤總明　茂木惣兵衛　木村庫之助　久野昌一　松崎藏之助　井上敬次郎　坪谷善四郎　藤村喜七郎　宮島清次郎　遠山友鄉　横田濟兵衛　杉原榮三郎　關根親光　水野勝興　河瀨秀治　朝比奈知泉　中井巳治郎　[illegible]

株式申込取扱所

東京市日本橋區青物町	日本興業銀行
東京市日本橋區小舟町三丁目	安田銀行
東京市日本橋區本町二丁目	若尾銀行東京支店
東京市日本橋區本石町四丁目	茂木銀行東京支店
東京市日本橋區兜町五番地	帝國商業銀行
横濱市辨天通四丁目七十七	横濱商業銀行
大阪市西區土佐堀通り一丁目	加島銀行
大阪市西區新町南通り三丁目	五十八銀行
名古屋市中區榮町四丁目	愛知銀行
東京市日本橋區坂本町二	富久屋富永直三郎商店
大阪市東區道修町二丁目	五島儀三郎商店
名古屋市西區玉屋町	名古屋株式信託會社
東京市日本橋區小舟町一丁目	東京紙料株式會社創立事務所
大阪市南區長堀橋筋一丁目	本會社創立事務所大阪支所

廣告　拙者儀今般整理上必要有之拙者に對する債權未整理の分は御手數ながら來る二十三日迄に其債權を御申込被下度候也　大正六年六月二十一日　仁川米豆取引所仲買人　齋藤榮之助

恩給年金　五ケ年分秘密低利貸　共金　取扱希望方は特約す　名古屋市西區江川中町二丁目　化粧品雜貨　渡邊店

質　京城黃金町二丁目入（永樂町停留所北）　堀佐營業所　電話六三九番

化學的純良なる　ツバメ　齒磨　特長　齒を強く美くし。口中を清潔にし。防腐殺菌力強大也　大阪　東京　丹平商會藥房

宇治本場眞正銘茶小包直接販賣　御茶銘並に定價表（各一斤百六十匁に付）　一、宇治本場の如何に不拘宇治製本場特製品を以てする事　一、正價を以て親切を旨とし廣告と現品と表異なき事　一、目方及荷造を嚴にし速に貴需に應ずる事

▲玉露之部　一千羽鶴　金五圓　一龜の齡　金三圓　一老松　金二圓　一寒竹　金一圓五十錢　一白梅　金一圓二十錢　一砂金九十錢　▲煎茶之部　一高士　金一圓二十錢　一富士の尾　金一圓　一池の尾　金八十錢　一大福　金七十錢　一堀井園

一正喜撰　金六十錢　一喜撰　金五十錢　一青柳　金四十錢　一川柳　金三十六錢　▲濃茶之部（此部のみ十匁に付挽上げは二割増）　一初昔　金四十錢　一後昔　金三十錢　▲薄茶之部（挽上げ二割増）　一極詰　金三圓

▲折物之部　一上別儀　金二圓六十錢　一別儀　金一圓　一折鷹　金九十錢　一上雁が音　金七十錢　一雁が音　金六十錢　▲粉茶之部　一下眞　金一圓二十錢　一玉眞　金七十錢　一葉花粉　金七十錢　一玉花粉　金四十錢　一煎粉　金三十五錢

大典記念　小包制限賣販規定　弊店は左記の方法に依り破格の割引をなし、殊に平素の愛茶家諸彦の御厚情に報ゆる爲め小包目方の最大限一貫六百匁（箱詰として既に送り得る完全なる荷造を施したる總量）を提供して各華主の御便宜御利益を計らんとす

茶銘並に定價表（正味一貫二百匁入箱代共）　▼玉露之部　一老松　金十一圓五十錢　一寒竹　金八圓九十錢　一白梅　金七圓三十錢　一富士　金六圓六十五錢　一池の尾　金五圓七十五錢　一大福　金五圓十錢　一堀井園　金四圓五十錢　▼煎茶之部　一正喜撰　金三圓九十錢　▼粉茶之部　一玉眞粉　金七圓三十錢　一玉花粉　金四圓七十五錢　▼折物之部　一折鷹　金六圓　一雁が音　金四圓十錢

◎御注文の節は小包制限賣に依る茶銘何々小包幾個分と御記入の事◎前金にて御注文の節は小包代金に送費御記入なき時は普通の販賣法に依る◎小包料は左記の如し（前金御注文の分）　内地三十六錢。臺灣、樺太六十錢。朝鮮、支那七十錢

販賣手續　右之外御注文に應じ何品にても調進仕候裝飾は總て御進物に適するやう細心に注意を加ふ◎御注文は總て前金を爲替又は振替にて御送金の事◎代金引換小包郵便の二種に限る◎前金御注文の際は御住所氏名を極明瞭に細記し前金御送付の事◎一圓以上の品は無代紙箱詰とす◎一斤代金二圓以上の品は無代錫罐入の事◎現品送付に付途中破損の節は御通知次第代品御送付致し候

本店　山城長池郵便局區內綴喜郡青谷村　堀井園　堀井嘉之輔　電話長池十四番　振替大阪七二九九番

今般本療法にて奇効を得られたる古城菅堂氏等の勸誘により左記個所にて臨時出張施術の求めに應ず

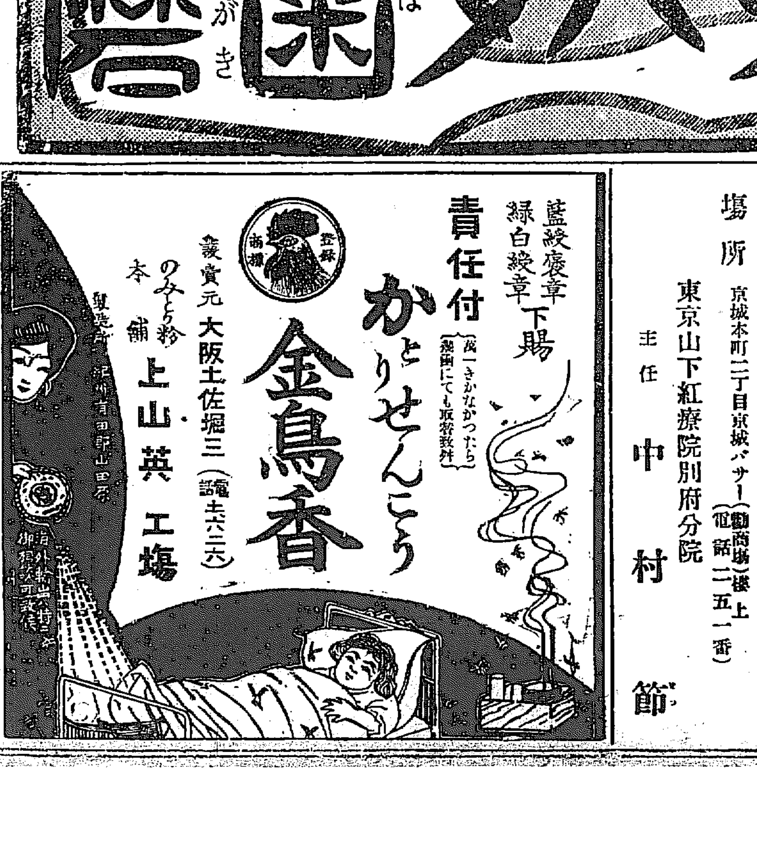
山下紅療法

適症　腦病、慢性胃腸病、脚氣、神經痛、リウマチス、婦人病、肛門病

期日　六月廿一日より向三十日間

場所　京城本町二丁目京城バザー（勸商場）樓上（電話二二五一番）

東京山下紅療院別府分院　主任　中村節



藍綬褒章　綠白綬章　下賜　商標　金鷄　責任付（萬一きかなかつたら返品にても取替致升）

かとりせんこう　金鳥香

發賣元　大阪土佐堀三（電話土六二六）　のみとり粉　本舖　上山英一郎　工場

製造所　紀州有田郡山田原　海外輸出公特許御殺虫可致候

第三版

[illegible] 二〇四一 二〇二五 二〇七 二一二八

▲二十一日後場 ▲[illegible]後寄二十二圓[illegible]錢東京二十二圓七十二錢大阪前止二十二圓八[illegible]二錢後寄九十七錢の入電にて當地寄中田氷不[illegible]九十八圓六[illegible]錢さ八錢高に寄付き一歩六錢[illegible]たるも買物多く七十三錢と上伸せしが反[illegible]は又[illegible]

▲保合底強し　天候依然晴天大阪の上寄[illegible]受け十八圓六十七錢と寄付き六錢と辿りたるも◎より目立ちたる買物現はれたると[illegible]合の柄に何となく底堅き成行を示したり不知今後の摸動如何あるべき
▲◎同店の賣四千餘石買九千餘石
▲今同店の賣六千餘石買二千餘石
▲奈同店の賣二千餘石買五千餘石

[illegible]て場面頭重き成行を見し稍もすれば下走らん形勢なりしが今後は大阪高を受けて存外堅硬の成行を示し[illegible]見遊しに買逸りたるも[illegible]の晴れ一時登りを[illegible]り買注文ボツボツ入り込みたりとの噂にて多少商人氣を唱ふるに至れり▲海州大豆九圓九十錢十圓二十錢等にて出來たり

廿一日の八月限

六月限	十八圓七十二錢	百石
七月限	十八圓七十二錢	百五十石
八月限	[illegible]	三萬九千七百五十石

[illegible]我等に[illegible]の墳墓を發掘し尚家宅を燒拂ふべしとの脅迫狀を發したるも鄭が之に應ぜざりしかば彼等は直ちに墳墓を發[illegible]

●高田川襲名　大阪相撲早瀬川は高田川を襲名し三代目となれり（大阪電話）

京城日報

六月廿二日
（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢　郵税一ヶ月金拾五錢　前金に限り三ヶ月分[illegible]　▲勞働代用二割増
廣告料　▲五號活字十六字詰一行金八拾錢　▲二號活字[illegible]　▲[illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯（長）四五番　營業（用）[illegible]　[illegible]　振替貯金口座京城三〇〇番

朝鮮の教科書（三）

編輯課長　小田省吾

一、普通學校教科用圖書（其三）

●第三●教科書●一般方針●　以上國語並に諺文の假名遣法を決定すると共に普通學校教科書に關する一般方針を定め、以て編纂の根據とせり。左に其の主なる條項を示す

一、普通學校教科書は朝鮮教育令並に普通學校規則に準據して編纂すること

二、普通學校教科書は朝鮮語及漢文讀本を除く外總て國語を以て記述すること、但し一層國語の普及するまで私立學校生徒用に充てむがため修身書、農業書等特種のものに限り別に朝鮮譯文を作ること

三、内容は教科目の異るに從ひ各其の特色を有すべきは勿論なるも直接國民性養成に關係ある教科目に在ては最も左の諸點を主となすべきこと

（イ）朝鮮は内地臺灣等と同樣我が國家の一部をなすものたることを明に知らしむ

（ロ）我が帝國は萬世一系の天皇之を統治し給ふ所なるを知らしむ。

（ハ）我が國が今日の如く國力の發展せること、並に朝鮮人が大日本帝國臣民として外世界一等國の人民と肩を比し、内幸福なる生活を營むを得るは、一に皇室の御恩澤によるものなるを印象せしめ、各其の本分を守りて皇室を尊び國家に盡すべき道を知らしむ

（ニ）實用勤勉を主とし空理空論を避けしむ

四、普通學校教科目中別に地理歴史科の設なきを以て、國語讀本教材中にて本邦歴史地理の一斑を授け、朝鮮語及び漢文讀本教材中にて朝鮮地理の概要を教ふることゝす

五、記述は國語讀本卷七、八に幾分文語を掲ぐる外、算術、理科、農業等をもすべて口語を以てすることに

六、文章は成るべく平易明晰にして理解し易からしめ、常に好感を以て之を迎ふる樣にし、又徒らに筆記補足をなす弊を避けしむること

七、分量は相當學年の文部省著作國定教科書に比し稍多くし、又各課必ず練習問題を附し以て練習應用に重きを置かしむること

八、既に前に敍したる[illegible]鮮に於ける諸學校教師は[illegible]人を除くの外、大多數普通學校教師にして、教育者としての學識經驗に乏しく、國語を能くし本邦の事情に通ずるもの少きを以て、常に此等朝鮮人教師をして教授上相當効果を擧げしむる樣留意すること

九、各卷首に緒言を附し、編纂の要旨取扱上の注意を記すると共に、卷末に附録を附し生徒の自學に便ならしむ

十、表紙竝に插畫の意匠に注意し書冊其のものに趣味あらしめ之を尊重し且つ好愛する念あらしむること

十一、用紙は印刷上又使用保存上差支なき程度のものとなすも製本は充分に注意し定價は出來得る限り低廉ならしむること（現在出版の普通學校教科書定價は生徒用教師用共各冊何れも金六錢なり）

支那商工業の變遷（廿七）

今關天彭

一五、元代の商業

元代の商業は世祖の時は、注意したやうであつたが、しかも利病相半ばするものがあつた。始めて十一路の平準庫を立てゝ物價を平均し、また市易庫を立てゝ市易、幣帛の諸物を掌つた。これは宋法によつたのだ。十一路とは嶺北（外蒙古の地）遼陽（滿洲の地）河南、陝西、四川、甘肅、雲南、江浙、江西、湖廣、征東（朝鮮の地）で、それへ平準庫と市易庫と並び立てたのであるが、平準庫は先づ燕京に立て、そして諸路に及ぼした。たゞ蒙古一帶は、商人能く苦勞に忍び天を蔽ふ沙漠の地でも貿易に從事して、少しも怠たらず、駱駝を以て物を馱し、隊を結んで遠地の旅を續けた。隊商とは是れである。庫倫（外蒙古城）より張家口（直隷宣化府）に至る地方は今猶ほ隊商が絡繹として絶えぬのである。

元は蒙古の地から起つて、亞細亞全部を征服し、かつ遠く露西亞地方にまで及び、一二四一年、大に歐洲の軍を破つたので、羅馬法皇は大に驚いて使者を差遣し、佛王ルイ九世もまた使者を派遣した。これから後は歐亞の隔りも漸く開けて來た。世祖の朝に來た商人中では、伊太利ベニスのポロの一族が殊に著はれて、殊にマルコポロが世祖の厚待を受けた事は、世間の能く知るところである。ポロが歸國して後、遊記をつくり、備さに東亞の物産を書き綴り歐人の視聽を聳動させたので諸探險家が爭うて航線を東方に向けた。因にマルコ、ポロを以て樞密副使となり、かの宋の忠臣たる文天祥と激論したる博羅としたのは、佛人ポーシアに始まり、英人ユールによつて眞實の事實のやうになつたのであるが、この博羅はマルコ、ポロの入元したより遙か前に、蒙古の顯官となつた別の人である。

世祖の江南を一定するや、海上貿易は、大抵宋代の舊慣により、市舶司を七箇所に置いた。即ち泉州（宋と同じ）上海（江蘇、松江府上海縣）澉浦（浙江嘉興府海鹽縣）温州（浙江温州府）廣東（宋舊）杭州（宋舊）慶元（宋の明州）である。但し、温州、澉浦、上海の三司は、後に慶元に併せた。その海關税法は、世祖の時には精製品は十分の一を取り、粗製品は十五分の一を取り、また雙抽（外國貨物）單抽（自國貨物）の法を設け、仁宗の時には、精製品には十分にして二を取り、粗製品には十五分にして二を取つた。支那商人には航海するを禁じ、官それ自身に船を發して貿易に從事したが、後に至ると商人の航海貿易を許した。總じて本國商人の海外貿易については、歸國した時に、その税を取り立てたが、當時貿易の勢は、前代のやうに活潑でなかつた。それは日本の拒絶と、歐洲への路の阻絶が原因を成した。即ち日本人が、四明（浙江寧波府）に至つて貿易を求めたとき、その舟に兵具があつたので、世祖は異圖のあるを恐れて哈喇𧸐に海道を防がせた。また歐洲路については、ポロが歸國してから後、土耳其が西亞細亞に起つたので、歐亞の路がほとんど杜絶するに至つたのであつた。

鄰邦を奈何（九）……對支國策を確立せよ

中島生

所謂面子不好

日支の經濟關係を改善して一層緊密ならしむるの策如何。此の重大複雜なる問題に對して、日本たるもの須らく識者の智能を集めて攻究すべし。然かも今日の如き好機會はないのである。經濟上の利益を離れて親善莫し。對支國策は經濟上の基礎に於て、之を樹てなければならぬ。

日支の經濟關係を密接ならしむるに當りて、先づ吾人の考ふべきは、道德心の向上と云ふことである。之れは双互に取り必要な事である。試みに日本人側について云へば、日本人が支那人を莫迦にして掛ると云ふ態度を改める事などは、重大なる道德的意義を有する事の一である。支那を以て完全なる國家を成すものとは、何人も認めない。忌憚なく言ふ時は、支那は之を國家と見るよりも寧ろ民族社會と見るが適當である。國家として之れを評すれば言語道斷の國家である。然かし民族社會としては相當に有力なる社會である。國家としての支那、國民としての支那人は、同情には値するが、如何にも尊敬に値せぬのである。之に反して社會としての支那、及び社會を構成する分子としての支那人は、決して莫迦に出來ぬのである。若し經濟的關渉を極度まで深からしめんことを期せば、社會的に支那の價値を認め、個人的に支那人を吾人と對等に取扱ふ事が、頗る肝要であり、日本人として賢明なる處置である。

日本人が米國に行つて、米國人から『ジャップ』と云ふ代名詞を浴びせ掛けられて、侮辱を感ずるが如く、支那人も亦、日本人から『チャンコロ』の言葉を吐き掛けられた時に、心ある者は、大なる侮辱を感ぜずに居れまい。日本人は妙な所に力瘤を入れたがる者で、時々大和魂の誤用を惡用をやり兼ねない。支那人に對しても、自分は宜い加減に彼等を莫迦にして居り乍ら、彼等から少しでも侮辱的態度を受くれば、直ぐに手を振り上げる。大和魂は濫用すべきものではない。餘り濫用すると、金儲けの上に、却つて支那魂にしてやられる事にならぬとも限らぬ。支那人といふ者は、不思議に體面即ち彼等の所謂『面子』を大切にする人間である。面子不好……顔が立たぬ……と言ふ言葉は、有ゆる場合に用ゐられる。賄賂や口銭を取る人間が面子不好も可笑しいが、これでも矢張り面子不好で賄賂や口銭を取つて居る。從つて彼等の面子を立てる積りで待遇してやれば、喜んで居る。此の呼吸は日本人よりか、英人獨人乃至米人などは『よく呑込んで居る』。

支那に踏み出して居る日本人も可なり支那人を莫迦にして居るやうであるが、日本に來て居る支那人に對しても、隨分之を輕蔑して居る。最も殘念に思ふのは、日本に於ける支那留學生に對する、日本の社會的待遇の良くない事である。日本まで來て留學する支那人は、多くは良家の子弟であつて、修業の後は直ちに實業界の要路に立たんとする有爲の青年である。他日社會の中堅となるべき人材の候補者である。彼等が日本に於て受けたる待遇を感謝して歸るのと、不快に思つて歸るのとは、直接間接に日支國民の親和不親和に大關係を有するのである。記者も曾て東京で支那留學生と同じ釜の飯を食つた事もあり、机を並べた事もあるが、彼等の多くは學生として贅澤な生活をして居つた。隨分酒色の巷にも足を入れる者もあつたが、又日本人中にも彼等を誘惑して成る丈け金を絞り取る事ばかりを念掛けて居る者もあつた。當時支那學生間に花柳病患者の多かつた事も記憶に新らしいのである。彼等の墮落は彼等自身の責任であるが、又彼等を誘惑して學事を荒廢し淫蕩の生活に踏入るに至らしめる事については、日本の社會も亦責を分つべきである。

太平洋上より

丹羽滿太郎

小生等の乘船因幡丸は、本月八日午後三時横濱を解纜し航行の途に上り、而して十五日午後五時過ぎ正に東半球より西半球に入らんとして、緯度百八十度を通過致候。機關長柳原氏は乘客に向ひ、サー御覽、今や西半球に入ります、ソレ波の上に青い境界線が見ゆますと申して笑はせ申候。措て復航の時は航海日數一日多く相成候ことゝて、十五日は今明二日あることに有之候。此度の船に於て婦人客の多數なるを見て、非常に我が國民の海外に發展するの勢を察し、大に欣び申候。勿論此等の婦人は、決して忌むべき醜業者に無之、紳士にして夫と同居せん爲めに子供を連れて行く者、夫婦同行して航する者、若しくは結婚の爲めに渡る者に有之候。上中下三等を通じて、乘客日本人百六十四人の中に、婦人六十四人を占め申候、又盛なりと存候。尤も以前には尚ほより多くの婦人航海せしこと有之候も、近來は寫眞結婚のことが米國に於て六ケ敷相成候爲めに、餘程渡航婦人の數を減じ候由に有之候。此等婦人にして米國に於て家を持ち子女を生み、而して永住の見込を以て生計を營むに至り、而して市民權を得て米國に在住する者多きに至らば、實に我が民族の世界に盛に發展するを見るを得ることにして、誠に欣ぶべき現象と信じ候。

今度の航海は、豫想よりも風強く波高く、爲めに船病者多く有之、爲めに一等食堂の如きも、外國人多數を占むると云ふ有樣にて有之、然し昨日は初めての晴天にて、波靜に相成候爲めに、三等客も亦婦人もノコノコ甲板上に顯はれ來り、小兒等の嬉々たる聲も聞き申候。然して明夜船員の催しにて演藝會有之候樣廣告有之、又百八十度を越し候へば、追々日本料理も出で候由にて、鰻焼、うどん、飯の御馳走有之候も、願くは天氣よくして多くの男女が、演藝會及び御馳走を充分に飽食賞味するを得んことに有之候。（[illegible]二千哩の海上に於て茲に第一信を送り申候）

日報詩壇

朝鮮風俗雜吟　大久保晩香

僧侶
久炎沙門伍賤僑　緇傳一穗法燈幽
黑衣今日黑於俗　梵典不通通窾響

巫女
呪厭護稱釀禍因　凶殃祟託鬼神暝
古來巫女手中鼓　驟殺痴迷幾許人

兩班
文武乘權威若山　雲門甘是驗難攀
如今市中耶中婢　總擁黃金僭兩班

酒幕
煤塵暗了壁低闘　道是酒亭兼客亭
旅室臨人影瘦　駄來燈燭小於螢

打水

‖五の日十の日會‖

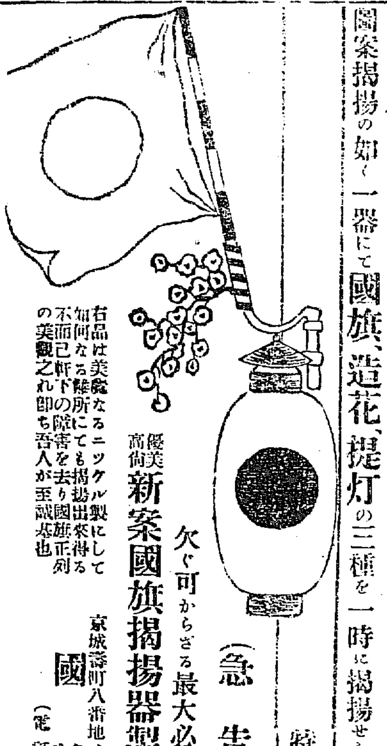
○新聞雜誌ばかり讀み打水　華
○打水一手桶の庭なり
○一日一善もなき日の打水　鳥
○水打つては來る二人の往かひ　目
○水草淡ふ泥水打てば日落つ　池
次の二十五日は時に島堂に合す

碧樓　虹　平　堂　池

新小說豫告

『誰』　布施生譯

探偵手段の推理的な點に於て彼のコナンドイルの師匠株であり而もドイルには見當らぬ人情の絡んだ此の『誰』の作者はエミール、ガボリオーであつて探偵物と云へば大抵は人情に遠いけれど之れは其の點に於ても遺憾がない局面の變化の多い事は今喋々を要せぬ近く朝刊一面に連載すべし必ずや我愛讀者諸君は大喝采を以て歡迎さるべく期して疑はぬのである乞ふ掲載を待たれよ



圖案掲揚の如く一器にて國旗、造花、提灯の三種を一時に掲揚せらる輕便器也

特許出願中

（急告）

欠ぐ可からざる最大必要品

優美高尚　新案國旗掲揚器製造販賣

右品は美麗なるニッケル製にして如何なる場所にても掲揚出來得る不而已軒下の障害を去り國旗正列の美觀之れ即ち吾人が至誠也

京城壽町八番地ノ四　國誠社（電話架設中）

日本少年　七月號

電吉式無線電信
奇譚氷兵の髑髏

マラソン功名談……佐藤中將
少年音歌劇公演……[illegible]
スワロフの勇士……大迫大將
少年は自重せよ……[illegible]
蝦兄弟……渡邊霞亭
少年博士……永代靜雄
忠僕中助……岡本綺堂
姉……[illegible]水
▲貸家札……[illegible]

一冊十二錢　郵税一錢　半年分七冊共税八十五錢　東京市京橋　實業之日本社

少女の友　七月號

◎常識的大懸賞募集……◎日本全國名所スタンプ
△惜しくてくたまらん話……（沼波文學士）
△秀吉を驚かした昔の手品……（高木文學士）

一冊十二錢　郵税一錢　半年分七冊共税八十三錢　東京市京橋　實業之日本社

◎六月二十三日より二十七日まで五日間

ゆかたデー

◎珍柄豊富に陳列致居候　其他見切品澤山

京城本町　丸一吳服店　電六三五番

鎭痛藥　ホシコロダイン　定價10.20.

▲胃痛▲腹痛▲中暑▲眩暈▲食傷▲吐瀉

東京南傳馬町三　星製藥株式會社　各地特約店及藥店にあり

特約店　京城府太平通二丁目三〇五　キムラ藥房

第卅九回特別帝國議會

▲衆議院召集

第三十九回帝國議會は二十一日を以て召集せられたり當日衆議院は午前五時五十分兵庫縣選出維新會所屬代議士松本誠之氏の登院を先登に總員三百六十四名前後して登院するや午前十時振鈴に依りて一同議席に就き政友會は中央に憲政會は其左に維新會無所屬は其の右に國民黨を最右端とし先づ前議會と一變す軈て寺田書記官長各書記官を隨へて臨場議院法第三條第二號に依り暫く議長席に着き議長候補者を選擧すべき旨を宣し議長候補ノ選擧手續を爲して指名點呼を行ふ時に十時十五分、同卅分投票を終る斯て十一時十分開票を終りたるが其の際寺田書記官長より投票中殿閣下と記したるものあり此投票は合總當ならずと信ずと報告するや政友會、維新會、國民黨側は無效々々と呼び憲政會側は之を有効なりと主張し廣岡宇一郎氏は其は何人なりやと質問したるに寺田書記官長は兎も角殿閣下に就きて判斷を請ひ度しと述べ有効と認むる者の起立を請ひたるに憲政會全部及び國民黨二三の起立ありたるも結局少數にて無効と決定せり開票の結果は二百三十三點大岡育造氏(政友會)百十六點藤澤幾之輔氏(憲政會)五十一點天春文衞氏(政友會)四十九點中倉萬次郎氏(政友會)二十四點小川平吉氏(政友會)以下省略す」にて寺田書記官長は衆議院規則第七條に依り大岡育造氏議長候補者として當選せる旨を宣し尙他の二名は何れも過半數に達せざるを以て藤澤、天春、中倉、小川四氏の中より被選投票を行ふ旨を述べ再び指名點呼を行ふ時に午前十一時二十五分續いて第二第三候補者の決選投票を行ひ其の結果投票總數三百七十票二百十五點中倉萬次郎氏二百六點天春文衞氏百卅六點藤澤幾之輔氏三十三點小川平吉氏無効(一票)中倉、天春の二氏を第二第三の候補者に選定し次で副議長の互選に移り十二時三十分開票の結果投票總數三百五十七票中二百二十六點濱田國松氏百十七點小寺謙吉氏五十二點榊田清兵衞氏五十點犬養毅氏五十點上埜安太郎氏にて當選書記官長は濱田國松氏過半數にて當選せる旨を宣し次で第二第三候補選擧の結果上埜、榊田兩氏當選書記官長は衆議院規則第十三條に據り以上の議長副議長の候補者は直ちに上奏の手續を爲すべく尙同十四條に據り議長副議長勅任の翌日の午前九時參集する事となり居るを以て勅任あり次第公報を以て報知すべしと宣し二時散會せり(東京特電)

▲開院式期日

二十三日御擧行

天皇陛下には來る二十三日午前十時三十分貴族院に行幸帝國議會開院式を行はせらる可し(東京特電)

▲大岡氏推薦通告

政友會院內幹事古谷、廣岡の兩氏は二十一日午前九時院內各派控室に各派幹事を訪問し議長に大岡育造氏を推薦する旨を通告したり(東京特電)

▲正副議長任命

二十一日衆議院に於て候補者各三名連記の上正副議長の選擧を行ひ寺內首相より與き邊りに上奏したる結果左の如く任命ありたり(東京特電)

正四位勳三等 大岡育造
議院法第三條ニ依リ衆議院議長ニ任ス

勳三等 濱田國松
議院法第三條ニ依リ衆議院副議長ニ任ス

支那の形勢

▲政務員會組織別報

黎總統が督軍の要求を容れたる結果として憲法改訂、國會解散の手續等に就き新に政務員會なるものを組織せられ湯化龍、梁啓超以下數十名の委員を推擧したり(北京特電)

▲兩廣巡按使敎圍く

從來態度不明なりし兩廣巡按使陸榮廷氏は大總統に對し督軍をして此の上の要求を爲さしめず直ちに軍隊を撤退せしめざれば國民に檄を發するの已むを得ざる事となる可しと打電したり(北京特電)

◎大連より啓上

六月十九日 特置員

くに有之候倫敦銀塊は本月二日以來昂騰して三十七片強より三十九片十六分の一と相成其儘今日迄[illegible]敦電報(上海經由)を僞電せしめ當日三十九片十六分の一のものを三十八片十六分の一九即ち入ポイント暴落に[illegible]猾なる支那人は我事成れりと而ふに廻りて買ひ煽り取引高八百萬圓と呼び空前の收組を見せたるが後に至[illegible]を取り出して市中支那錢莊などへ著電する電報を信用するゆゑ斯かる間違ひも起る譯にて且つ市場惑亂且つ[illegible]遺憾と申すべく而して本件は目下大問題と相成り居り申候

[illegible]驗場長、又大連より田中警務課長、大刀司法主任、植村辯子窗出張所長、山內令州支署署部、市來水產會[illegible]檢視察、水泡に歸すべしと氣遣はれ申候、匆々不一

▲錢鈔僞造事件 [illegible]

▲捕鯨會地視察 [illegible]

◎露國女子義勇軍檢閱、近々戰線に派遣されん

ペトログラード衛戍司令官ポロフツェフ氏は女子義勇軍第一派遣隊を檢閱して其戰鬪に堪へ露國陸軍と伍するに足る事を承認したり該派遣隊は近く戰地に派遣せらる可し(露都電報)

◎田中中將動靜

田中參謀次長は二十一日張督軍の午餐會に赴き午後七時滿鐵公署にける總領事の招宴に赴きたるが二十二日午前旅順に向ふべし(奉天特電)

◎日郵運賃引上

日本郵船會社にては七月一日より大阪、神戸、浦潮間往航運賃を平均現率より三圓方引上げ實行に決定せり(大阪特電)

◎造船補助中止影響

田遞相は豫算內示會に於て造船獎勵補助金下附を來年度より中止する旨言明せるが右は勿論一時的のものにて其善後策については調査研究中の由なるが多分特別議會に該補助中止に關する單行法を提出するに至るべしとの事なり而して右補助中止の結果船會社側の受くべき影響如何を見るに刻下各造船所に於ける貨船造作費は一噸四百圓位客船造作費は一噸千圓餘に上騰し造船界は非常に好況を呈し居るを以て縱令一時補助を中止せらるゝとも大なる影響なかるべしと(東京特電)

◎歐亂と銅の需用

久原鑛業所營業部長 星野準一郎氏談

久原鑛業所營業部長星野準一郎氏は二十日午前入港の關釜連絡船新羅丸にて釜山上陸直ちに北行列車にて鎭南浦に向ひたるが車內往訪の記者に語つて曰く

▲來鮮の目的 自分は未だ朝鮮に渡來したることなく爲めに兎角不便の點もあり旁小閑を利用して本社の經營せる鎭南浦の製錬所及び成鏡南道の甲山銅山を視察するのみにて他に何等目論見等を以て來た譯でない近時歐洲戰亂以來世界各國に於ける

▲銅輸出旺盛 銅の需用は激しく延びて日本に産出する銅の産額も夥しく增加し戰前三四萬噸に過ぎざりしに昨年は約六萬噸を輸出し主として英佛露の聯合各國に供給したるが取分け英國が最も多く一時は露國へも相應に輸出し居たり近來同國の國狀より一般商人も不安を懷き差控へ居れる爲め近時更に同國への輸出を見ざれども漸次相場の好調なる爲め本年の如きは少くも十萬噸に達すべし

▲甲山銅山現況 本社も現在の模樣にては本年は三四萬噸の製煉を爲し得べく只積なるを以て金銀の三分の一は本社の製品を見るべし本社が昨年コールブラン氏より買取したる成鏡南道の甲山銅山の如きも買收以來規模を擴張して現在一萬人以上の鑛夫從業員を使役して經營して居る有樣なるが成績は所期に優る良好である

▲南浦精錬有望 本社の經營せる鎭南浦の精煉所は現在の處では規模狹少にて其産出額も頗る微々たるものである然し前途は至て有望の模樣なれば漸次擴張の豫定である本社は各地に鑛山を所有し夫々探鑛に着手し居れるを以て之れ等鑛山に於ける採鑛量の增加するに伴ひ同製煉所も當然今日の模樣にては間に合はぬことになるは自然の成行である

▲南鮮と銅山 目下の所南鮮地方には未だ之れと云ふ銅鑛の採掘を行ふものなきも追々は鑛區を發見せらるゝ時運の到來することゝあらん從來朝鮮にては金、銀等の鑛業は從前より經營せられ居りしも銅鑛の如きは近來に於て試みられたる經營なるを以て未だ普ねく鑛脈の探檢を爲さゞる如くなれば將來は何れ南鮮に於ても有望なる銅鑛脈を發見せらるべきこともあらん(釜山)

□李王殿御健勝

李王殿下は二十日午後五時三十五分無事三島御著、王世子殿下の御用邸に入らせられたり此の日朝來雨晴れ兼て御樓欄あり富士の形容も御覽あり御機嫌極めて麗はしく益々御健勝の旨其の筋に電報ありたり

◎上旬鮮鐵荷動

滿洲粟の入荷活潑

六月上旬の荷動狀態を見るに發送噸數六萬四千九百二十五噸收入十九萬三千六百十三圓にて前年同期に比較すれば數量二萬二千二百七噸(五割六分)收入七萬七千百四十九圓(六割二分)の激增を示せり本旬中出荷の主なるもの左記の如し

一、石炭二、米三、木材四、大豆五、雜穀六、鹽七、豆粕八、鹽干魚九、鑛石十、煙草十一、繩叺

以上の順序にして前年同期と增減を比較すれば粟貳二百二十五噸を減せる外左記の如く增加せり

石炭四千百六十七噸大豆三千百六十三噸雜穀二千九百三十五噸米千九百八十九噸鹽干魚千五百七十八噸鑛石四百二十二噸木材五百二十二噸鹽石四百四噸繩叺三百七十四噸煙草二百九十噸

主要貨物出荷狀況次の如くなり

▲石炭 荷動引續き旺盛にして總數九千三百七十七噸なり

▲米 相場の高騰により商況活氣を帶び鮮內取引需況を生ぜるも本旬にんつては元山地方通關の終焉見るの荷動閑散となりしため前旬に比し減退せり

▲木材 荷動狀況前旬に比し大差なきも本旬に入り鴨綠江筏の出荷增加するに活況を呈せり

▲大豆 米價騰貴につれ相場昂進し取引活躍を生じ加ふるに穀價貨物の減少により內地移出に對する發送額著しく緩和されたるため荷動好況を呈したり本品約八割は內地直送移出二割は釜山打切扱なり

▲雜穀 米豆相場昂進に伴ひ本品も市況堅調を呈し取引活潑にして荷動好況を呈せり滿洲粟は米の代用品として需頗る多く古國鬥坪街及兩子鐵嶺等より南大門仁川木浦等に發著する

▲鹽 頃日來元山近海に於ける鰮の豐漁により之が鹽漬用として需頗る多し

▲豆粕 荷動依然旺盛にして一日平均十車の出荷を見たり

▲鹽干魚 元山近海に於ける鯖漁盛んなりしにより出荷活況を呈し前旬に比し倍加せり

▲鑛石 本品の出荷は甑南浦鎭南浦間始んど大差なく毎旬平均噸數の出荷を維持せり

要之本旬の貨物運輸は頗る好況にして前旬に比し米に於いて幾分の減退を見たれども木材鹽鹽干魚等は多大の增加を示し更に前年同期に比較する時は石炭大豆雜穀を始め各品何れも著しく激增し尙滿洲粟の輸入は收入上尠からざる好影響を與へ本旬の收入は頗る良好にして前年に比し六割六分を增收し鮮鐵未曾有の好成績を舉ぐるを得たり

◎府稅徵收不良

京城府に於ける徵稅成績は昨今稍改善の域に進みつゝあるも之を內地各都市の納稅成績に對比する時は依然甚だしき懸隔あり現在の狀態よりすれば他都市の如き好成績を擧ぐるが如きは前途猶遼遠と謂はざるべからざる狀況に在り試みに最近の納期に屬する府特別稅營業稅及び雜種稅に現はれたる大正六年度第一期の徵稅成績を見るに法定納期を經過せる已に半月の今日に於て調定稅額に對する收入步合は左の如き計數を示せり

調定額に對する收入步合

科目	人員	稅額
戶別稅	五割六分七厘	五、九二
營業稅	四、三七	三、三八
雜種稅	三、二五	四、四四
計	三、九四	五、九四

依之觀之未納者は全戶の約六割に當り稅額の未納額約四割に當れり府當局は近々之等の未納者に對し二十三日頃督促狀を發する豫定にて目下夫々準備中の由なるが督促狀發送件數は少くとも一萬五千を下らざる見込にして如斯は他の都市に於て其の例を見ざる所之れ實に納稅に對する市民の義務觀念薄弱なるを立證するもの府民の一大恥辱と謂はざるべからず府當局は此際一般市民の反省を促し併せて納稅の美風を養成する目的の下に市內有力者に對し之が改善策に關する意見を徵しつゝありと

◎張勳徐州に歸らん

張勳氏は督軍連の要求條件奏總統の容るゝ所となり二十日朝迄に直隸、河南、山東、奉天の各省既に獨立を取り消し其の他の諸省も之に倣ふ模樣あり融和の徵候現はれしより最早や調停の目的を達せりとし內閣の成否に拘はらず一兩日中に林公使を訪問し徐州に歸るべしと(北京特電)

◎共和維持總統擁護耳

陸榮廷氏は總統府に電報を致し余の意中は共和維持總統擁護の外何物も無しと述べたるを以て總統府側は陸氏の態度を樂觀し居れり(北京特電)

◎前黑龍督軍動靜

黑龍江省督軍を辭したる畢桂芳氏は二十日朝奉天著張督軍の爲めに迫られて形式的に訪問し直ちに北京に向へり蓋し許蘭洲氏と張作霖氏とは肝膽相照したる間柄なればなり(奉天特電)

◎戶別割と學校組合

京城學校組合にては目下組合費戶別割の一期分賦課に對し多數提出されたる戶別割減免願の實地調査中にて之れが終了次第第二次の組合會議を開催すべき豫定なるが多分來月十日前後には會議召集の運びとなるべしと因に戶別割に關しては元來資產、所得、生活の程度等を標準として等級割を認定賦課するものにして違法等の嫌ひを生じ得ざる性質を有し從つて組合規則に基き戶別割賦課に對しては異議申立たざる本質を有せり即ち一般府民提出に係る戶別割賦課に對する異議申立は形式上相立たざれ共要は賦課金の高下を論ずるものに就き當局にては之等異議申立の書類も猶戶別割減免請願書として其々實地踏查の上審議しつゝありと云ふ

◎朝鮮と外人勞働者

大正五年十二月末調査に依るに鮮內寄留地外に於ける居住又は外國人勞働者數は四年末現在に於て居住者四名、勞働者三十二名、居住及び勞働者三千三百二名計三千三百三十六名なりしもの大正五年末には居住者數に在りては異動なきも勞働者は八名を增して四十名となり居住及び勞働者數は一千九名を增して四千四百九十一名となり合計四千五百三十五人を算せり

◎測量講習會

土地調査及測量講習會

府郡島に於ける地籍調査及土地臺帳の整理を完全にし土地調查事業の成果を維持する爲地稅事務に從事する吏員をして是等圖簿の取扱並に整理に關する事務に熟達せしむるの必要を認め大正五年度迄に土地臺帳の引繼を受けたる百二十八府郡島の財務係書記を臨時土地調査局に召集し地稅事務に關聯する土地調査及測量講習會を開催することゝ爲り、右百二十八府郡島を二回に分ち其の第一回六十四名に對し本月十八日を以て講習を開始せり同日は度支部より長官代理として稅務課長及水口稅務課長臨席し又土地調査局よりは各課長列席の上開會式を擧行し和田總務課長、局長訓示を代讀し尙有賀課長より講習員に對し講習に付て希望を述ぶる所ありたり而して次回は九月上旬開催の筈なり

◎鳥取縣視察團歡迎

鳥取縣鮮滿視察實業團一行は二十二日午前八時五十分南大門驛著入京す可きに就き鳥取縣人會は之を期とし二十四日午後八時より一行を淸華亭に招待歡迎の宴を張る由

人事消息

▲前川第三十九旅團長 ▲岡田同副官 二十一日夜入京巴城南へ

▲鎭海要港部司令官 同上天原機へ

▲前田錫一氏(貿易商) 同上

▲ヴァードレー氏夫妻(安東支那郵政局長) ▲ダリン氏(同ハノイ府政務局長) 同上朝鮮ホテルへ

▲佐藤辰雄氏(平北批峴大正水利組合技師) 二十一日朝入京南尾へ

▲武藤宗三郎氏(綿紗商) ▲金安榮之助氏(同) 二十一日朝退京

▲大田三郎氏(鮮銀大連支店長) 同上

南言北語

本郷、明石、兩將軍等と共に英名錚々たる宇都宮太郎將軍は大分逢話に富んだ人だが▲其內でも最も振つて居る奇拔なのを紹介せう▲將軍が或時公用で海外に行つた際上海から乘り込んだ中野光三と云ふ人と心安くなつた▲此の中野と云ふが非常な大酒飲みで朝から晩迄飲んで居る▲之れを眺めた將軍も斗酒辭せぬと云ふ酒だから溜らぬ中野の飮み具合が話せる管の卷つ振りが大に氣に入つたとあつて徒然の餘り懇意になつた▲此の中野は大酒の外に珍らしい奇行家で飄然郷里の九州を飛び出して上海に來た▲見るもの聞くもの皆氣に入つて豪遊の白痴を盡して財布が輕くなると▲今度は獨逸へ行かうと此の船に乘合せたものだ▲將軍益々酒興に入つて其れは面白い貴公の樣な人は吾輩は大に好だ▲早速だが吾輩の娘を貴公にやらうハイ戴きませうまあ一杯飮めイヤ閣下から婿舅の盃だ飮み直しだと飮み續けて▲船が新嘉坡へ著くと何時の間にか中野の姿は消ねて仕舞つた▲將軍もオヤ〳〵妙な男だと打ち捨て置いたが▲中野先生新嘉坡でも依然奇行百出醉興の限りを盡して警察へ引つ張られて姓名を問はるゝと▲將軍は何時にか「ドクトル、オナケ」とやつた事件は罰金で濟んだが大分英字新聞などに素破拔かれた▲處が中野君は其後生て居るのか死んだか薩張り判らぬが▲洋上一杯機嫌で眞面目と戲語との間にフラ〳〵と持ち出された花嫁御寮の將軍令孃ふく子さんは▲芳紀正に十八歲美人の評判がある恐らく阿父さんと戀物者との間に譯もなく纒められて譯もなく嬉の樣になつた珍緣談は御存じはあるまい

五絃琵琶教授

五絃琵琶は橘宗家か多年心血を注ぎ大成せられ橘琵琶の眞髓は五絃にありと聞へべく從て之が彈法は宗傳の掟なりし處私事先般東上中宗家より五絃教授免狀と法龍山の雅號を授けられ歸京候に付き爰傳以上の資格者に限り教授可致此段謹告候也 追て四絃教授は從前の通り

京城南山町三丁目十一番地 五絃 法龍山 東原旭扇

都山流 尺八 音譜

音譜解說 三十錢
新鶴巢籠 二十錢
松の榮 廿五錢
笹の露 三十錢
(送料二錢)

大阪 前川 三丁目 合名會社

書籍蓄音品絹紬類各種萬年筆販賣及修繕

京城永樂町二丁目 電一七四〇 振京一〇八 堀崎商店

臨時特別大興行 有樂館

世界的第五連續寫眞「紫の覆面」第九編第十編 全五卷

米國ユニヴァーサル會社ブリユーバード社特作 人情活劇「無言の價値」全五卷

東京小林商會特作大正五年十月二十八日淺草永住町に起りし悲慘の出來事を脚色せるものにて客臘淺草みくに座に於て三十日間滿員を受けたる大寫眞 淺草情話「血染めの鑿」全四卷

鐵鋼 在庫 豊富

(天) 京城南大門通三丁目 福田又京城支店 電一二二 振替京二九二

左官材料値上廣告

昨年以來原料騰貴運賃高率の爲め當組合に於て左記の通値上致候に付此段廣告仕候

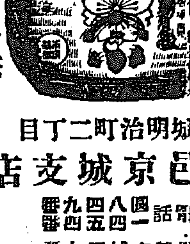
大正六年六月十八日 京龍仁左官材料販賣同業組合

改正定價表

沸化石灰 叺入 八十錢
俵灰 八十五錢
黄土 二圓五十錢
吟南草 一貫匁 並六十錢
苧莚 一貫匁 中六十三錢
色砂其他 三割値上
生石灰 百斤叺入 七十錢
淺黄土 一俵 一圓卅五錢
吟南草上 一貫匁 八十錢
苧莚上 一貫匁 七十錢
苧莚並 一貫匁 五十五錢

比較は最良の撰擇法なり!!

サクラ正宗 サクラ正宗 サクラ正宗



京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話[illegible] 振替京城五七番

魚釣具及投網 卸小賣 吉備商會

京城永樂町二丁目 電話三一四番 振替京城四三二八番

□御申越し次第定價表進呈 □遊船御案內

…滿市に於ては鈔票信託株式會社設立…以來益々金銀市場の激變甚だしく隨つて其の取引旺盛なること前便の如し…屬取引人の一部の支那人は奸詭極まる惡計を廻らし密に人を芝罘に派遣し芝罘の支那郵便局に於て取扱ふ倫…本人はそれと許りに買り叩き而も狡…本郵局は其儀電報して之を發表せ…頭氣にして而も氣早の日…や非常の物議を惹起し居り中に元來取引所及び鈔票信託が直接倫敦電…判明し日本人は概して失敗を招き…早く立會停止の策に出づべかりしを事茲に出でず支那人をして思ふが儘の跡逋をなさしめたるは返すくも…

…於ける捕鯨事業視察の爲め大連民政署は十八日巡邏船長風丸を差立て都督府より黒崎庶務課長、緒方水産試…記者等十數名便乘三日間の豫定にて海洋島方面に向ひ申候、然るに當日午後に至り天候險惡を呈し流石の捕…なつた…る、…は出水を待つ船の…つてゐる。二十五萬圓の…ある、堀川に通ずる…た郡民の…抄してゐる

京龍間臨時列車運轉

觀火會行き乘客運輸の爲

◇更に普通列車の車輛增結と　京城電氣會社の電車大增發

來る二十三日夜龍山漢江に於て擧行の本社主催の觀火大會は今回始めての事とて空前の盛况を極むべく、從がつて觀衆も非常に多數に上り雜沓すべきを以て鐵道局にては開會前より會場行きの群衆の乘用に充つべく午後七時三十分南大門驛發の臨時列車を運轉し尚ほ七時十分同驛發の仁川行き同八時四十分の列車には客車の大增結を行なひて輸送に便すべく更に歸途には午後十一時二十分龍山驛發の臨時列車を運轉し尚ほ十一時七分龍山發の仁川よりの列車並びに十一時三十四分龍山發の元山よりの列車には大增結を爲す事となれり、京城電氣會社に於いて當夜全力を擧げて增發する電車と相俟つて往復共便利なるべし

自動車顛落後報

鮮妓一名即死す＝運轉手重傷を負ふ

鎭海要港部司令官東郷中將普門副官柳町主計中監外三名が二十日乘合自動車にて晉州に向ふ途次午後三時三十分頃自動車顛落し東郷中將を始め一行何れも重輕傷を負ひたるとは既電の如し今當時の模様を報せんに顛落の場所は郡北を距る一里（晉州郡班城面）の山間にて車體は廿間程墜落し同時に乘客は四方に投げ飛され運轉手江川道成は右腕を折り更に足部に重傷を負ひ乘客中中將一行の外馬山萬町鮮妓崔鶴姫（二七）は下腹部を撲ちて即死し、外に埼玉縣人安原藤次郎及び鮮人金時鉉の兩人輕傷を負ひたり驚て運轉手江川は辛うじて郡北に辿り着き此の椿事を急報するや警官其の他馳せ付けて一同を救助せり尚之れと同時に佐々木慶南道長官、佐々木第一部長、今村第二部長、水間警務部長、慈惠醫院長、北村馬山警察署長等現場に來り二十一日午後一時一行は馬山著出迎への汽艇にて鎭海に赴きたるが此椿事にて馬山は一時却々騷ぎなりき（馬山特電）

◎坑夫數十名の大亂鬪

些々たる口論より

本月十五日黄海道長淵郡樂道面上五里崔致祿方前の路上にて同所小林金鑛の鮮人坑夫二名が散歩中通り蒐りたる三名の支那人坑夫と僅かの事より口論を始めたるが同日は恰も鑛業所の休業日なりしことゝて附近に居合はせたる鮮人坑夫十數名と支那人坑夫十二名とが互に應援したる爲め火の手は益々擴がり更に續々双方より集まり來り互に數十名に達したるが鮮人側は優勢にて互に亂鬪中鑛業所員長淵分遣所の憲兵等出張して鎭壓したるが其の結果支那人側に重傷二名、輕傷三名と鮮人側に三名の輕傷者を出し負傷者へは公醫出張して應急手當を加へ關係主謀者は目下取調べ中

◎鹵簿撮影取締

從來行幸啓又は御成りの場合に於ける鹵簿其の他の撮影に關しては往々不敬に亙る向きなきにあらざりしが今回天皇皇后兩陛下行幸啓の節は御馬車の場合、又皇太子殿下行啓の節は御馬車若くば御人力車の場合に限り不敬に渉らざる範圍に於て目立たざる方法に依り撮影申上ぐるは差支なきも御徒歩御乘馬の節は絶對に撮影不相成又各宮殿下諸方に被爲成節も不作法に渉らざる様普通寫眞に撮影申上ぐるは差し支へなし、但し活動寫眞に至りては何れの場合に於ても絶對に撮影不相叶ことゝ定められたり

◎御影署の刑事收賄罪で收監

兵庫縣御影警察署勤務巡查入和田、宮武兩刑事は收賄罪にて神戸監獄署に收監されたり（大阪特電）

◎猛火を冒して人を救ふ

十七日午後八時二十五分頃高陽郡漢芝面新堂里徐好文方より出火し居るを通行人が發見し本町警察署黄金町七丁目派出所の巡查補李成春が眞先に駆付け猛火に包まれ中風症にて避難不能なる徐好文を擔ぎ出したるが同人は火傷を受けしも幸に生命には異狀なかるべく往十里より憲兵出張して人民を指揮して消防し一棟を燒失したるのみにて間もなく消止たり

◎三人斬に求刑

京釜線鳥致院にて三人斬りを爲したる福岡縣生れの堀仲龜太郎（三五）東萊生れ張長守の殺人罪、神奈川縣生れの左官藤田與吉（三九）に係る傷害事件は十四日釜山地方法院にて公判開廷立會ひ檢事は被告長守を無期懲役に龜太郎に懲役十五年、與吉を同五箇月に求刑したるが二十一日判決ある筈（釜山）

◎共同墓地で百名入り亂れて

大格鬪を演ず「重輕傷者三十五名

龍山二村洞吳興泰は弟某の病死體を埋葬の爲め十七日午後四十餘名の里民と共に京城府所管なる梨太院の共同墓地に赴く途中偶々高陽郡漢芝面往十里の朴承完なるもの母の屍體を埋葬の爲め之れも里民五十餘名と共に同墓地に來合はせたるが葬列中なる往十里の者が二村洞の者より鼓を借りて打ち鳴らしたるに二村洞の者が其の打立が拙劣なりとて嘲りたるが始まりにて端なくも口論を惹起し其の結果有合せたる木片石塊等を持ちて双方百名許り亂れて大格鬪を演出したる騷ぎに京城分隊漢江派遣所より憲兵出張して制止したるが其の結果往十里の組に三名、二村洞の組に二名の重傷者を其の他兩組に合計三十名許りの輕傷者を生じ取敢ず重立ちたる二村洞の者七名と往十里の者二十七名を引致して目下取調べ中

◎器用な伊勢濱

＝力士社會には稀らしい多趣味な男で筆蹟は美事であり文章も鳥渡書く＝

◎伊勢の濱の力士になつたのは明治三十四年頃であつた、親父は伊勢の産で伊勢の濱といつて東京力士となり幕の内の有力な力士だつたが、彼は生ッ粹の江戸ッ子で、現在の東京力士中指折の氣立てのいゝ力士である

◎相撲仲間に入る前は親父の最負の旦那の所で稼拾ひをしたせいでもあるまいが、非常な酒呑童子で、一斗二斗の酒は何んでもなく飲むといふよりは浴びるほどにやつたものだが、四十一年頃入幕と同時に、フッツリ禁酒して今日では全く飲まない

◎武骨な力士社會に稀らしい多趣味な男で、筆蹟は美事なものだし、小説が好きで自分で筆を執る位だから文章も鳥渡氣の利いたものを書くし、此の頃は忙がしいといふので筆を持たぬさうだが、以前は西洋畫をよく描いて、殊に水彩畫が得意で三脚を擔いでスケッチに出掛けたものださうだ

◎その外に碁も打てば將棋、玉突何んでもムれで、寫眞までも弄り廻す。それといふのも大酒を廢してからの事で、元來が器用な質で往くとして可ならざるなしといふ勢ひ、但し本人は「此頃は忙しいものですから雨でも降らなければ何んにも出來ません」と言つてゐる

◎伊勢の濱の立合の綺麗な事は有名な話であるが、土俵に上れば、ただ、鹽花を撒くだけで決して仕切直しに相手を焦らさせるやうな事はしない。此の點は飽迄立派なもので、武士的風格を備へてゐるといふ事が出來る

◎體格といひ性質といひ栃木山と頗るよく似た相撲で寡言温厚、實にいゝ力士である、本年三十五歳、體重二十九貫、得意は右四ッ吊り上手投等である

◎二日目の勝負

大邱の大角力

大邱に於ける大相撲二日目（二十一日）の勝負左の如し

友渡　友の山　矢筈山　曾根松
國見崎　小嵐　太刀嵐　玉
若ノ島　清瀬川　紅葉川　荒島
土州山　黒瀬川　太刀山　伊勢濱

△本社大邱支局お好み相撲
矢筈山　太刀嵐

斯くて一行は大邱を打ち上げ同夜金泉に赴けり（大邱特電）

◎婦人連は一切木戸御免

大田の東京大相撲

東京大相撲太刀山の一行は來る二十二日大田乘り込み二十三、二十四の兩日大田本町一丁目の空地に於て興行の豫定なり依つて協會先乘木村正五郎氏は數日前より來田勸進元側と打合せの上萬遺憾なき設備に從事中なるが前景氣頗る素張らしく殊に朝鮮に於ける太刀山の土俵入りは今回を以て最後とする事とて勸進元側にては一般婦人の爲め全部木戸御免とする由なれば大田の美形連は勿論良家の奥さんおかみさん達の入場意外に多かるべし尚本社大田支局に於ては恒例により好み角力若しくは五人拔等の最も奇拔なる懸賞相撲を所望すべく目下夫々計畫中なるが初日の主なる取組左の如し

東　太刀山　敷島　國見崎　太刀嵐　曾根松
西　土州山　若州島　矢筈山　小嵐　遠州洋
東　黒瀬川　清瀬川　友渡　龍ケ濱
西　伊勢濱　紅葉川　荒玉　友の山

▲力士の宿割決定

東京大相撲太刀山一行が大田興業中の宿舍は左の如く決定せり

富士屋　太刀山外五名▲中川旅館　伊勢の濱、矢筈山、紅葉川外六名、鶴田旅館　黒瀬川、若島、木村庄之助外十四名▲大田館　國見崎外十四名▲千歳旅館　木村大藏外六名▲對馬屋　二所の關、土州山、敷島、清瀬川、太刀嵐外十五名▲朝日屋　荒玉外八名▲越後屋　谷川外八名▲越後屋　太刀海の外八名

◎慘殺して強奪

全北鎭安郡程川面葛龍里農永日事孫邦永（二四）は五月十六日朝鎭程里金昌淑（二五）より牛の賣却方を依頼されたる際昌淑が金員を所持せるを見て急に其れが慾しくなり巧みに昌淑を同里後方の山路に誘ひ隱し持ちたる朝鮮鍬を以て慘殺し所持金四十圓を強奪して逃走したるも邦永は此程鎭安署の手に逮捕さる

◎才蓮嶺伯作品展覽會　日本畫家として知られし南米倉町島田才蓮氏は二十三日二十四日鐘路青年會館に於て作品展覽會を開催する筈なるが猶同氏の門弟[illegible]の作品も陳列せらるゝ筈なり

◎神理教所（南山町三丁目）月次祭來る二十二日午後八時卅分より祭典執行式後講演あり

◎弓削學務課長令孃逝去　總督府學務課長弓削幸太郎氏長女けい子（九歳）は二十一日午後七時三十分急性盲腸炎にて逝去せり葬儀は途中行列を廢し二十三日午後一時旭町三丁目日蓮宗護國寺に於て佛式にて執行の由

えんげい

◎源之丞開演　[illegible]

◇ランチウの飼ひ方◇

▲江原善槌氏談▼

◇優美なる金魚の王者に、金魚のオーソリチー江原氏のおはなしを聞く　氏は去る四十四年頃から京城で飼養してみたが、こちらの飼ひ方は内地のそれとは少々趣きが異ふとのことである

◇庭には二坪ばかりの漆喰の池を高さ一尺ばかりに拵らへて、水の上には金網が張つてある。水の中には割い『まつばも』の間をランチウの美しいのがおよいで居る。

◇これは今春江原氏自身、わざく東京から携げて來たもので、容器はこの通り江原式を工風した、と趣味のやうな、トメンの金魚容れを三脚に吊つたものを示された。値段は一匹四五十錢位ゐですかと、訊いてみると『莫迦なことを―』と江原氏は眼を円くした。江原氏のランチウは一匹廿圓以上の逸品で六匹も居る

◇江原氏は少さな網を手にしてしきりに『まつばも』を掬ひとつて居た。それはこのごろ（主に四月中旬から五六月のころ）金魚の雌が卵を産みつけるから、その産みつけた『まつばも』を網ですくひあげて、別の泉水に容れるのである。泉水の水は、豫て温めて置かねばならぬが、いれて四五日すると孵化して來る、孵化つて一ケ月もたつて一通りのメダカとなれば毎日餌をやらねばならぬ

◇飼ひ餌は雛のうちは[illegible]それを寒冷紗でこして水にとかせばよい。それから十日か廿日もたてばミジンコ、イトミミズ、アカボーフなどやる、大きくなれば更に[illegible]やればよい

◇江原氏はまた漆喰の泉水について注意していふ。泉水の場所は必ず旭日のよくあたる處で、且つ風通しのよいことが條件となる。それでよく[illegible]で飼ふ人もある位ゐ。樹の下かげは一番不可ないと。（つゞく）

◎師匠淨瑠璃三日目

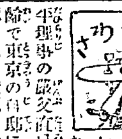
[illegible]

◎領事團と文明

大正館の[illegible]シビリゼーションは近來の大評判なる活動寫眞にて二十日の初日は降雨ありしにも拘らず八時半には滿員と[illegible]外國領事團[illegible]外人の見物多數なり

◎天一開演

先代松旭齋天一の長男にして天二と名乘り居りし同人は[illegible]外遊する事三度なりしが歸朝後二代目天一と改名して今二十二日より黄金館に開演する[illegible]一行は四十餘名にして[illegible]外人九名女[illegible]



◎無言の價値

有樂館にては二十一日乘込み二十二日初日にて二十八日まで一週間日延べなして[illegible]の一行は[illegible]義太夫[illegible]

東拓重役の家族には今年不幸が多い、然も孰れも高齢な嚴父達だ▲先ず松平理事の嚴父直巳翁が八十餘歳の高齢で東京の自邸に他界され▲次に石塚總裁も米壽に近い嚴君を郷里の若松市で長い旅に見送つた、それはツイ此頃の事だ▲然るに今度は川上理事の嚴父が八十三歳の高齢で福岡大病院で輕からぬ病氣を療養中であるが▲御輦をかつぐのではないが、實際川上翁の豫後は氣がかりでならぬと清水祕書役は大きな目を瞬り乍ら語る▲序でに東拓も此頃のやうに重役が四人まで出切つて、一人も殘らぬと云ふ事は空前らしい▲で、臨時重役事務を執つて居る笹岡參事や清水祕書役も一寸勝手が分りにくいやうに見ゆる

玩具 卸商　京城本町一丁目　織田東洋館　電話二六九八番　振替京城二五六七番
薄利多賣出荷迅速は弊店の特色

御佛具調進所　京城本町二丁目七七、旧南山町四　小倉佛具店　電話一五七一　振替京城三九五二

帝國製麻株式會社製品　東洋木材防腐株式會社製品
朝鮮特約販賣店　京城府龍山元町二丁目五十七番地　村松武八商店　電話二六番
營業品目……麻、綿、ズック、ダック類販賣　和洋麻綿毛織物及製作品、鐵道貨車雨覆請負　天幕、雨覆製作請負、並にズック製作品一式
特許品（木材防腐劑）クレオソリーム　クレオソート　東洋木材防腐株式會社製

醇良清酒

白鶴　仁川本町三丁目　增本酒店　電話一〇九番　振替京城六一九番

在庫豐富　迅速確實
英國サミールオスボン製鋼會社鋼東代理店　英國アーサーバルフォーア製鋼會社特約店
歐米鋼鐵、獨國産鋼各種
井口鋼鐵商店　東京市神田區東紺屋町一番地　電話神田四〇九、六九七番

魔術大博士松旭齋天一一行　總員六拾餘名來鮮
自六月二十二日至六月二十八日　七日間限り
毎日正午後六時開演　但し廿四日（日曜）に限り晝夜二回開演
第三回渡米研究　鮮なる妙技を演ず
世界的大魔術師　賜天覽　松旭齋天一一行
モスコー市オペラ座專屬　露國男女優一行
御觀覽料　特等壹圓　壹等七十錢　二等五十錢　三等三十錢　軍人學生小兒　各等半額
大魔術懸賞奇妙の鐵箱を發見者には實價金壹百圓の金時計を呈上　賞品金時計は本町織居商店に陳列してあります
黄金館　電話二六三七番

商業登記
朝鮮皮革株式會社ハ大正六年六月八日目的ヲ左ノ通變更ス
一、皮革ノ製造及販賣
二、皮革原料並ニ製品ノ賣買
三、諸官衙並ニ民間ニ要スル革具布具ノ製造賣買
四、前各號ニ關聯シタル物品ノ委託及代理賣買
五、栅木山營林事業
六、畜牛エキスノ製造及販賣
七、右大正六年六月貳拾日登記
京城地方法院
永登浦出張所

年金　恩給　五ヶ年　長期立替　大阪道頓堀大黒橋北詰湊屋兩替店　京城永樂町一丁目商品陳列館南ノ坂湊屋京城代理店

京日案内
普通一回前金五十錢　番外一回前金一圓（匿名一圓增し）
▲申込後中止の節は料金返戻せず▲六回以上の御申込は特に割引▲御照會の節は返信料に拘らず必ず番號御記入を乞ふ
普通
▼新古樂器類賣買と修繕　電話三三七　本町ウツボヤ出店　振三三 124
●電話讓受たし　京城長谷川町工友俱樂部　電話二四六七番 176
●店員入用　市内に身元引受人を要す　京城花園町電話一四六一番　龍波酒造場 174
●醬油販賣人入用　市内に確實なる身元保證人を要す　龍山元町二丁目　關西商會 175
番外
朝鮮特産　すだれ　御小賣　京城黄金町三丁目　取次電話二九四九　荒井株式會社製造元賣店 168
男女書記五名採用　品行方正能書の者履歴書携帶來談　龍山元町一參〇九　長谷川町天　朝鮮製藥合資會社 177
礦物定量分析　太平町二丁目　朝鮮公論社横小路左　電話長二三四四　坂元分析所 164
●内科●小兒科　京城明治町　電話一〇五四番　女醫　川崎朋子 169
●はねつぎ　うちみ くじき　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場 59
京城春川間合乘自働車　賃金片道四圓　●京城發前八時　京城水標橋通り　電話二一三八番　●春川發前八時　京春自働車商會　松田壽男 72
恩給年金長期立替　勸業債券（五分利）額面以上特別高價買受　銀行爲替付受放賣之好期不可逸　京城若草町白六番地　電話三千十一番　西村商會 154
ミシン新古賣買並に修繕　●針油部分品販賣　京城鐘路二丁目　公設市場バゴダ近電三三八　楠商店 78

弓削幸太郎長女　扇子　病氣の處二十一日午後七時三十分死去致候に付此段謹告候也　追て葬儀は途中行列を廢し二十三日午後一時旭町護國寺に於て相營可申候
大正六年六月廿二日
妹　弓削朝子
親戚　弓削一同
友人　一同

花筐(三十三)

松田竹の島人作

お豊は、少時すると、何にか用があつて、臺所へ去つた。

花枝は、澤山な玩具の主であつて、お人形さんも、又今父が買つて來た世帯道具のやうなものも、種々有つてゐた。けれども父から貰ひたての玩具が、子供心に珍しく、硝子函の中から出したり、又は入れたりして他愛がなかつた。

誠信は、其仇氣ない擧動を、凝乎と見てゐたが、其心の中に湧いて起つたのは、姿を隠した京子のことであつた。

近頃愛らしい花枝があるのに、京子は何故姿を隠したか、花枝に對する愛情はないのであるか、石島先生が、厳格に御育てに為つたのだから、夫に對して妻の踏むべき道も、子に對して母たるべき道も充分に知つてゐる筈であるのに、什麼した心の迷ひであつたらうか。お島が居て、花枝のことは、何にもかも引受て、親切に遣つてゐてくれるから可いやうなもの丶、若しお島が居なくつて、そして京子が姿を隠したと為ては、花枝は誰れが面倒を見てくれるだらう抔と、種々なことを考慮出した。

花枝は、父の然うした心配を、知らぬ顔で、無心に硝子函の上に、匙や皿を並べゐたが、不圖思ひ出したやうに、

『鎌倉にお母様が居らつしやると、此玩具を持つて往つて御目にかけるけれど、お母様が居らつしやらないから、不足いわ』と打ち萎れて言ひ、皿や匙を硝子の函へ入始めた。

誠信はこれを聞くと、ハッと胸を躍らせて、花枝は京子が鎌倉の別莊に居ないことを、什麼して知つてゐるか、多分お島が聞かしたのであらうと疑ひを起して來た。

お島は此時、誠信が脱いだ洋服を傍で畳んでゐたが、矢張ハッと思つて、誠信の顔を見ると、誠信の方からも又お島の顔を、意味あり氣に見た時であつた。

『乳母、京子のことは、花枝に聞かしてくれるなと、あれ程頼んで置いたのに、お前は聞かして了つたね。』と誠信は不機嫌で言ふ。

『いゝえ申上げは致しません。』

『でも、お前でなけりや、誰れも聞かせるものはないぢやないか、良くないことを聞かせて、子供心に心配をかけさせるのは、教育上最も不可ないからね。全く困るよ。』と誠信は愈々不機嫌である。

西洋料理 アイスクリーム
おいしい京城第一との高評を博し居り候
南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

甚麼場合にも、他の召使のことを彼れ是れと、主人に告げ口するやうなお島ではなかつたけれども、大切なことでも端なく饒舌ると思はれてはならないから、先刻お豊が知らしたといふことを、白地に言はねばならぬと思つた。

『妾は決して申上げは致しませんが、先刻お豊さんが御聞かせ申したのでございます。ですから旦那様の御歸りの間際まで、お豊さんと口論してゐたのでございます。』

『それぢや豊が言つたのか、呆しからん……豊にも決して他言してはならぬと言つて置いたのに、彼れは什麼も多辯で不可ん。』

『お豊さんの悪口を申上げるやうでございますが、什麼も種々と、御嬢様の意地を突ッつくやうなことを申上げるもんですから、眞個に困つて了ひました。』

『私は豊が多辯で、善くない奴といふことは大概知つてゐる。だから京子が鎌倉へ往くにも、あれは付けて遣りたくなかつたのだが、京子は莫迦にあれが氣に入りで、是非連れて往くといふもんだから、其儘付けて遣つたが、京子が姿を隠したに就いては、あれが何にか關係でも為てゐやしないかと思はれるよ。』

『左様でございますね。』とお島は考慮へながら應へる。

山羊乳 御用 官諸 臨達
京城獨立門東側 山羊牧場 電話一七七二番

老侠の面影

■日本の大侠客 佐兵衛翁

市電の架線橋を北に渡つた北區北野茶屋町の中程、巡査派出所の少し北手の電車線路に面した間口二間半ばかしの小さな格子造の家がある其表口に新しい木札に小林佐兵衛と書いてあるこれが大侠客の家かと驚かれる位、然し一歩内に入れば其處には美しい緑の葉の裡から此日光にも露が滴るかと思はれる様な肥付いた威勢のよい樹々の植込があり此葉と葉の間から廊下傳ひに

■木の香も新しい新築の母家が見ゑて居る其植込に面した八疊の一室で佐兵衛翁は年老いて今や餘り人に面接することを好はず女婿の酒井榮藏氏も今は不在なればとて取次に出でたる五十恰好の一人の乾兒は語る『大親方は

■純粋の大阪兒で天保元年に大阪堂島船大工町の質商明石屋九兵衛の長男として生れ十四歳の時無法な米價の騰貴に憤慨して堂島米相場の居寄場を破壊に出掛けて

■初て男を賣り其後明治六年に大阪消防組頭となつてより殆んど四十有餘年其間に人命救助慈善行爲など枚擧するに遑なき有様で別して第五回内國勸業博覧會などに

■翁の力に俟つ處大なのである而て大親方には今の親方酒井榮藏氏に嫁して居る娘様の外二男三女あり孫曾孫は十數名に達して居る然し流石の大親方も寄る年波に近頃は別して力が衰へ只自宅で寝たり起きたりして

■氣儘な餘生を送つて居ると云々と實に老侠當年の面影を偲ぶに足るものであらう(大阪支局)

新刊紹介

▲日本評論(六月號)全身不随の國民(寺師華山)日本の新國策(松田源治)露西亜の國情と暴擧して革命の由來と其の將來を說きて英獨の侵略政策に及ぶ(長瀬鳳輔)日本より見たる世界の問題(稻毛詛風)バイロン『マンフレッド』より(金子洋文)等の文藝評論及び内なる女の秘密(中澤臨川)深田康次郎の暴露されたる女の秘密等の悲歌、深田康次郎の小說一日の他其他(二十二錢東京神田駿河臺一元社)

▲現代之實業(三田人物號)福澤先生及福田英太郎(三田出身の人物と其の特色(尾崎行雄)三田出身の花形百人、福澤獨語(小幡篤次郎)其他十數の記事を悉く慶應義塾の主宰、人物、活動方面等に關するもの來收(時價二十五錢東京本所現代實業社)

▲最近書畫骨董物の流行するに伴ひ惡漢の徒此の機に乘じ僞筆、僞印等を僞造し之を眞物と稱し大官、豪富を欺瞞して不義の榮華に浴しつゝあることを耳にしたるが其筋に於ては大活動を開始し之等の惡徒を檢擧しつゝありと云ふが誠に痛快の至りに候而して吾等は猶一層進んで各質屋を詮議せられんことを望む之等の輩が他人の書畫を横領し入質したるもの擧て數ふべからずと云ふことを耳にせり(被害者の一人)▲南大門外有志家諸君に檄す諸君の盡力の結晶物とも云ふ可き町内集會所は或る者の爲めに謂ふに忍びざる場所となりつゝあり其筋よりの嚴重なる取締を俟たずして諸君等の手に依りて惡風の一掃されん事を望むや切なり當々恐る創立當時に於ける諸君等の理想に反せぬ事を(門外生)▲敢へて大和魂君に告ぐ余は愛犬者に同感の者なり從つて二頭も飼つてをる然るが故に何彼と解せぬ事共並べ立て丶愛犬家を攻撃せんとする人が可愛想に思はれる何が大和魂か實際大和魂が有るなら余の家に一度來て見給へ余の愛犬は土佐産にして朝鮮馬位はある之なら狂犬等も近寄れぬ君等には氣付藥の必要があらう(愛犬六家)▲水道係に電話で聞くと停水は前以て公示せり以來注意せらるべしとプンと電話を切つた仕方がないので太平通から慶熙宮附近迄ヨボを水汲に通はしむること三回十五錢を支拂ひたり給水量減少停水止むを得ずとは尤もだが停水に依り水道費減額は勿論斷行せらるゝでせうね(公平生)

公告
當部臨時建築科ニ雇員若干名採用ス
詳細ハ當部又ハ京城府廳門前掲示ヲ見ヨ
大正六年六月廿二日
朝鮮駐箚軍經理部

わかさ にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は ファーザーを御用ひあれ 藥價六十錢 一圓
京城黄金町三丁目 電話二九四九 山田文殊堂藥房

旅行用具 東京製 袋物 魔法瓶
京城本町二丁目 岩田鞄店 電話五九四番

キク!キク!

大學目藥
ソコヒの外はどんな眼病にも ほど能く 効くこの藥
大阪 參天堂藥房 製造

下痢腹痛には ヘルプ

新荷着 スイス製 アンパル懐中時計

(ニッケル側)十八形 (片蓋) 二圓五十錢
同 十六形 七
同 同 八
同 八日卷 九圓二十錢
同 十六形 同 六圓五十錢
同 十七形 同 四圓五十錢
同 ラジユーム月曜付十六形 同 六圓二十錢
同 十七形 同 十二圓四十錢
同 十七形 同 十一圓五十錢
同 (銀側)ラジユーム入十六形 (兩蓋) 四圓五十錢
同 同 (片蓋) 二十圓五十錢
同 月曜付 同 五圓五十錢
同 十六形 同 二十二圓五十錢
同 同 同 七圓五十錢
同 色付並保證美十二形 (婦人持片蓋) 七
色付並保證各色 同 四圓二十錢
同 十二形半 同 五圓五十錢
同 十七形 (兩蓋) 十
同 同 (片蓋) 六
同 同 二十
金張(十年保險)十八形 同 十二圓
同 (十年保險)十九形 同 十八
(金側) 十七形 金(片蓋) 五十五圓
同 同 六十六圓
至三百八十圓 金十八 五十圓
同 白 百圓
旅行用置時計 十三形ニッケル 四圓五十錢
同 十三形ラジユーム入 七圓三十錢
同 十
右は今回新着の商品にて本商會獨り之を有し小包郵便にて地方遠隔の御注文に對しては代金引換にて御送附仕候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
インクレッシー商會
本店 京城本町二丁目 電話九七二番

御料 御園化粧品

初夏の御化粧料

淡化粧用水白粉
御園の月

初夏に應はしい淡泊した御化粧には、化粧水御園四季の花を塗り、其上に誰方にも手輕に美しくして高尚な薄化粧の出來る水白粉御園の月をお粧遊ばすが一番です、御園の月には純白と淡紅の二種ありまして、お顔色の勝れぬ時とか又夜分には淡紅色御園の月をお粧け遊ばすと、ほんのりと櫻色の極く美しい御化粧榮えが致します。
定價 金二十五錢 金五十錢

肌の脂を除る化粧水
御園の露

化粧水御園の露はお顔の脂肪を容易く除り、肌を爽かにする特効が御座いますので、之を朝夕の御顔洗ひの後とか御風呂を召しました後で缺かさずお塗け遊ばすと肌は何時もサラリと氣持がよく白粉は思の儘に美しく着きます、又此化粧水で煉白粉を溶きますと白粉のノリとノビとを非常によくし、一層高尚な御化粧榮えが致します。
定價 金十五錢 金五十錢

美しく化粧直の出來る
御園紙白粉

旅行、散歩、芝居見物其他凡べて御出掛の折には汗や塵で美しい御化粧も汚れたり崩れ勝ちですが、之を美しく直すには御園紙白粉が一番です、御園紙白粉は紙質が丈夫で香がよく、汗や脂を容易く除り、白粉が程よく着いて美しく御化粧直が出來ますので、御婦人方には片時も懐中を手放す事の出來ぬ貴重な御化粧料で御座います。
定價 金十五錢

日焼を完全に防ぐ
御園ルチゲン

皆様のお厭なさる日焼を完全に防ぐには御園ルチゲンをお粧け遊ばせ、御園ルチゲンは東京帝國大學醫科大學教授醫學博士が苦心研究の結果發明されたる日焼を防ぐ藥品に加ふるに本舖研究部に於て純良なる化粧材料を配合したものですから、塗て少しも目立たず完全に日焼を防ぐ特効が御座いますから、紳士淑女方に大變な評判です
定價 金三十錢 金五十錢

本舖 御料御園白粉 伊東胡蝶園
發賣元 御料御園白粉 丸見屋商店
(264)

大正六年甲第一一八三號

公示催告

京城府古市町拾貳番地ノ壹
(支店所在地)
申立人 内國通運株式會社

一、貨物引換證 壹通

但番號第拾貳號運送品細布重量貳百六拾六斤荷造ノ種類及個數菰包貳個到達地京城南大門驛荷受人京城府本町三丁目藤井商店荷送人大阪市西區立賣堀南通貳丁目荷送人右工門運送貸金參圓五錢大正六年五月拾貳日大阪市大阪驛作成發行人大阪市北區梅田町鐵道院大阪荷扱所主任伊藤富太郎最終ノ所持人内國通運株式會社

右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其ノ所持人ハ大正七年壹月拾四日午前拾時迄ニ當院ニ權利ヲ屆出テ且右證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出ヲ爲サヽルニ於テハ其ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ

大正六年六月貳拾日
京城地方法院

臨時 購買
一、紅松板材 各種
詳細ハ廿貳日以降ノ朝鮮官報ニアリ
土地調査局

○船舶職員試驗
臨時船舶職員試驗左ノ通執行ス詳細ハ本月二十一日ノ朝鮮總督府官報告示又ハ執行官廳ニ就テ承知スヘシ
大正六年六月二十一日
朝鮮總督府遞信局

試驗期日	執行官廳
七月六日	仁川海事出張所 木浦海事出張所
七月十六日	釜山海事出張所 龍岩浦海事出張所

最新刊

書名	著者	定價
●閥族の解剖	神田會岡民	二、五〇
●郷等の爲めに代言す	田中玉堂	一、五〇
●大正國民の修養	遠藤隆吉	一、二〇
●小學教育の最近研究	帝國教育會編	一、六〇
●法學全書 國際公法	千賀鶴太郎	一、五〇
●補習學校の組織及經營	川本宇之介	一、六〇
●最新工業電氣化學講義	丸山	一、五〇
●教案 歴史教授の實際 上	山田	九〇
●Ｘレー	杉本健藏	二、二〇
●歐洲美術巡禮記	高村眞夫	一、六〇
●大正之青年と日蓮主義	柴田一能	一、〇〇
●改造商店繁榮策	岡城寺長	一、〇〇
●新式英語獨習自在	初等英學會	六〇
●高山彦九郎	山路愛山	九〇
●大聖日蓮	高須梅溪	一、〇〇
●大正青年訓	大町桂月	五〇
●處世論語	澁澤榮一	六五
●端唄及都々逸集附はやり歌小唄	池邊研竹	五五
●一葉	坪内雄藏	八五
●貯蓄のをしへ	秋山湖風	三八

大阪屋號書店
京城本町一丁目 振替京城二五七三番

當行取締役兼支配人藤本元次郎儀久敷福岡醫科大學病院に於て病氣療養中の處藥石効なく六月十九日午前八時死去致候此段生前厚知諸彦に謹告仕候也
追て家族歸宅の上當地に於て追悼法要相營可申候
大正六年六月二十日
鎭南浦 株式會社三和銀行
取締役社長 富田儀作

商況

下關期米特電

二十一日後場 [illegible]

大阪期米(廿一日後場)

△當限寄付二十一圓二十一錢 △中限寄付二十二圓八錢 △先限寄付二十二圓九十七錢

▲後場先限二十一圓六十七錢六厘七錢八錢九錢 [illegible]

賣物多く七十錢と押し更に七十四錢と跌れ一時其他より買物多く七十三錢と上伸したるが今日の其他より賣物多く七十錢と押したるも引續き其他より買物多く七十四錢と跌れ一錢と致合を告げたり市況は天候の依然快晴に大阪筋も受けたると [illegible]

じたる時何となく前日來の堅調と一變し強硬の相場と化したる者の如し斯くして今や天候相場の頂點中にて頭上の如何は忽ち人氣に影響する又寄附の成行ならんか

後場 (止) 存 安値 十八圓七十七錢 十八圓四十四錢

●脅迫状 全南成平郡月也面龍亭里金奇南外十二名は [illegible] 去る三月 [illegible] 掘して祖父の頭蓋骨を持去りし一件を榮山浦分隊文衛出張所にて捜索 [illegible]